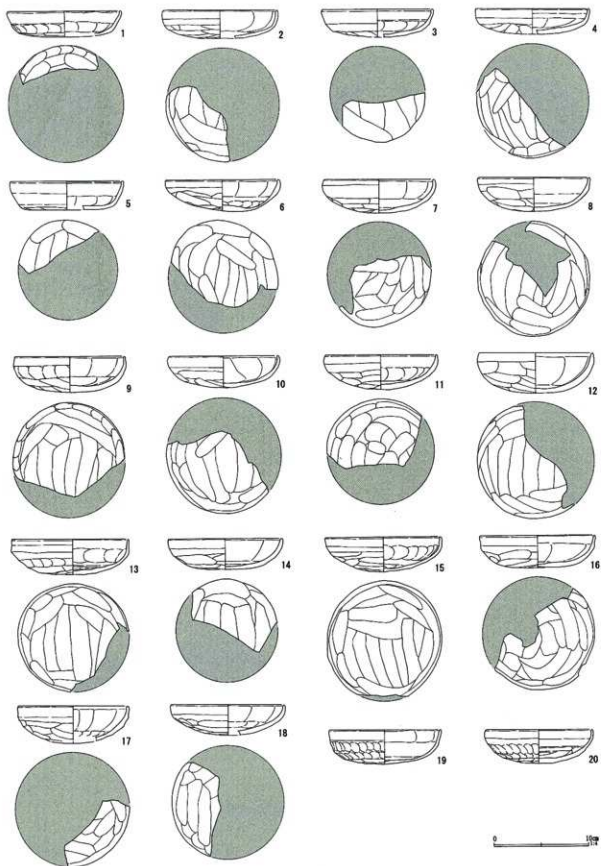
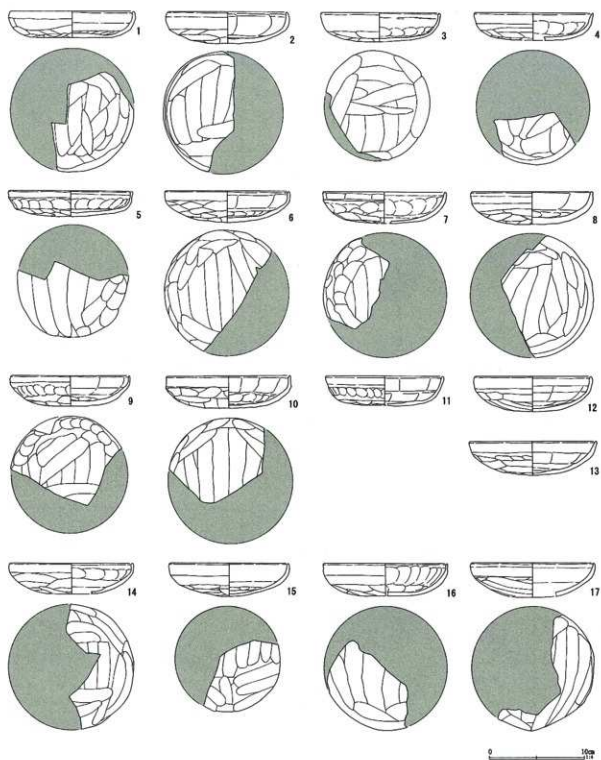


第42図 土器集中出土地点の出土遺物 (10)



第43図 土器集中出土地点の出土遺物 (11)

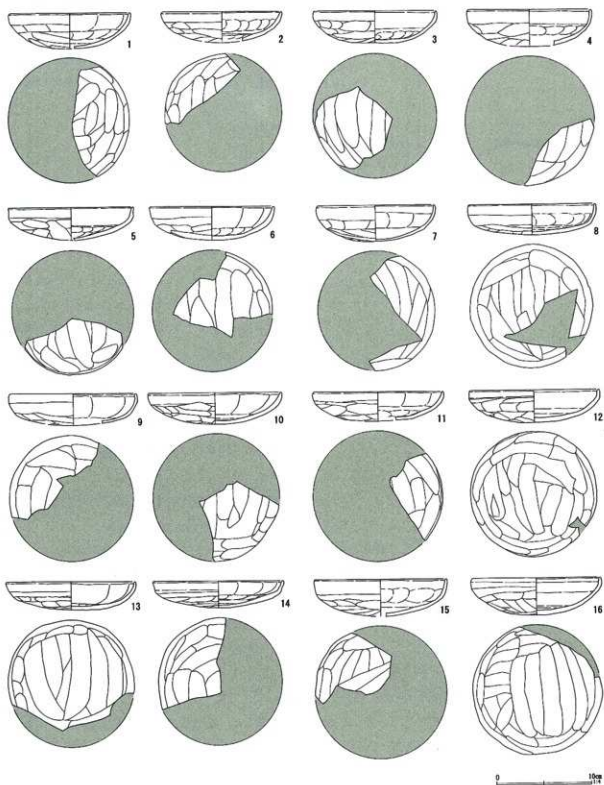


第44図 土器集中出土地点の出土遺物 (12)

ークを向かえたことを象徴していよう。

内弯口縁環の等密分布図は、内弯口縁環の底部が、内屈口縁環と異なるため、一括して作成した(第

38図)。内弯口縁環は、三ヶ所の集中を確認することができた。やはり中央河川跡に向かう傾斜面に集中する集中範囲が狭くなり、集中量も減少した。前

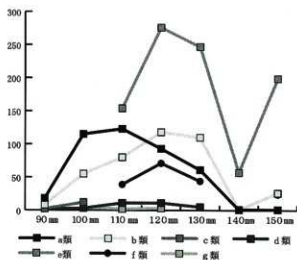


第45図 土器集中出土地点の出土遺物 (13)

述の古墳時代後期の土器と比較すると、集中範囲がやや東に移動し規模も狭まった。

図化できた内寄り縁坏は、第41図9、第42図20、

第43図6・7、9～18、第44図1～第45図16、第47図1～13第49図2である。第41図9～第42図12は、小形品である。第42図13～20、第43図6・7、9～



第46図 内弯口縁環の分類別法量

18、第44図1～第45図16、第47図3は、中形品である。第47図4～13は、大形品である。

第41図9・16、第42図1・6・9・11・12、第47図3は、ローム台地の粘土を原土として用いているが、他は、全て利根川水系の原土が用いられている。なお、第47図11は、内弯口縁環であるが、器肉が厚く、赤彩はされないが、赤褐色に焼き上がった5世紀代の土師器である。

また第49図1は、内屈口縁環とも内弯口縁環とも判断できないが、底部に木葉痕を残す土器である。一般的に土器の底部は、ヘラケズリしてしまうため、本来ならば木葉痕が残らないはずである。この土器は、底部を調整しなかったため、底部付近の粘土の回転寄れや指頭痕跡などが明瞭に残る。また2も底部に木葉痕が残る資料である。

土師器坏A

土師器坏Aは、内弯口縁環から系譜を窺える土器である。底部のヘラケズリと口縁部のナアの間に連続した指押さえの痕跡を残す。底部の調整は、底部と底部周辺に斜めヘラケズリが施される手法から底部のみのヘラケズリとなる。

全体のプロポーションも丸底から平底化し、器高も低くなる。これに伴って底部から口縁部がS字状となる。器肉の大変薄い土器である。詳しくは、『中堀遺跡』（田中1997）で分析したが、適当な名称がないため、便宜的に「坏A」としておく。

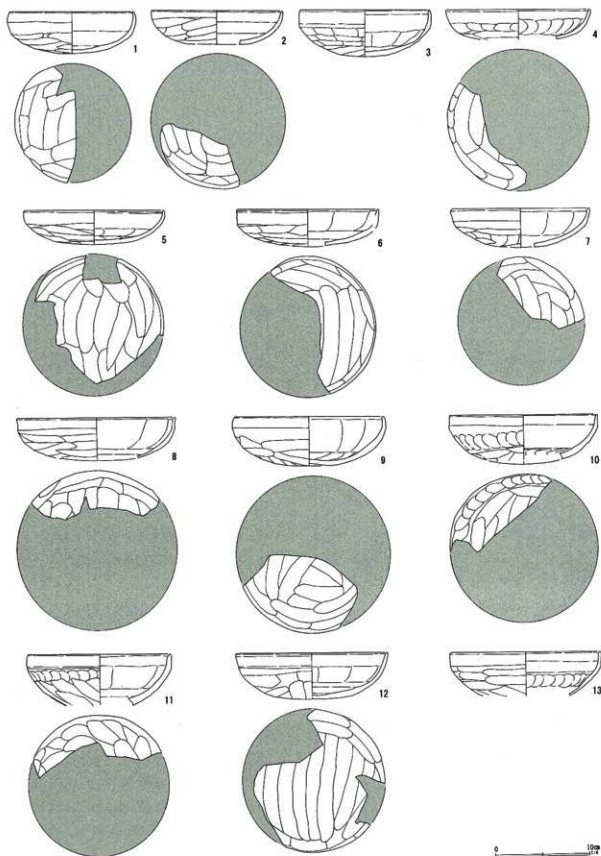
前の内弯口縁環とはほぼ共通した分布域を持ち、8世紀第IV四半期から9世紀にかけてみられる。土器集中出土地点には、出土が少ない。坏Aの消費段階に、土器集中出土地点の南に集石遺構が形成されたことも関係しているよう。

土器集中出土地点の坏Aの集積状態は、第48図に示した。第48図の等密分布の状況によると、これまでの土器集中出土地点の北西に形成され、集積状態も一箇所であることは注目したい。このことは、集積場所の移動を意味し、前述の集石遺構の形成とは、逆の方向へ動いたのである。

さらにこれまでは、集積箇所が分散していたのだが、坏Aは、一箇所に集中していた。また出土量も極端に低下してきたことは、坏Aの段階をもって、土器集中出土地点への集積が、終局に向かったことを意味しているよう。

図化できた坏Aは、第40図4、第43図1～5・8・19・20、第49図3～10、第51図7～17である。第40図4、第43図8は、底部の縁辺にもヘラケズリがみられる。第43図1～5は、扁平な底部となり、器肉が大変薄い。第43図19・20は、器高が高いが、底部中央のみにヘラケズリが施された。指押さえの痕跡も二重にめぐる。第51図7～10は、器高が高く底部が平底となる。11～17は、扁平な器形で皿形。

第49図3～10は、底部のみの破片である。外面に墨書がみられる。3は「綱」、4は「益」、5は「有」、



第47図 土器集中出土地点の出土遺物 (14)

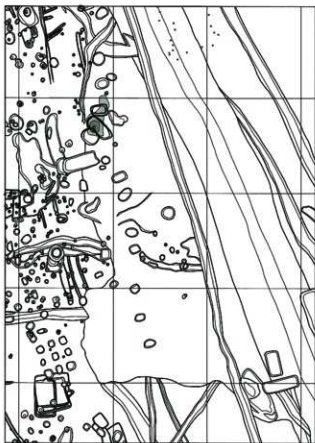
6は「益」、7は「綱」、8は判読できないが、「万」(土万)か、9は「益」、10は「綱」である。

なお、第40図4、第43図19、第51図7～14は、ローム台地の粘土を原土として用いているが、他は、全て利根川水系の原土を用いる。

また第51図19は坏B、20は、高台の付いた坏Bである。平底で厚手の底部から口縁部が直線気味に伸び、底部縁辺をヘラケズリした土器である。20の高台は、高く厚い。両者ともローム台地の粘土を原土として用いている。

土師器暗文土器

土器を整形後、土器が半乾燥の状態では内面にヘラや棒状の工具によって、放射状や螺旋状の細かなミガキ(暗文)を施した土器である。筆者は、外面にヘラミガキを施さないこと、雷文や螺旋文が乏しい



第48図 土師器坏Aの等密分布

こと、在地の原土を用いて作られていることから、この一群の暗文土器を畿内の暗文土器と区別して、「北島型暗文土器」と呼称した(田中 1992)。

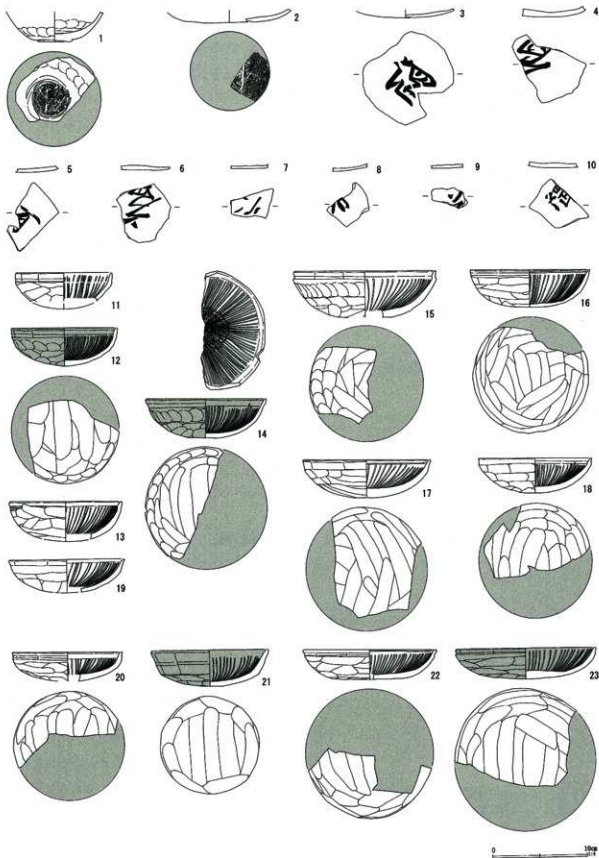
北島型暗文土器には、坏・皿・高坏・鉢などの器種がある。口唇部外面に小さな沈線状の凹部がみられ、内面がやや膨らむ。口縁部から底部にかけて、緩やかに内弯する器形である。口縁部外面は、細かくヘラケズリが施され、連続した指頭圧痕が残る場合もある。

内屈口縁坏とともに登場し、坏蓋模倣坏・有段口縁坏・比企型坏などとともに消滅する。この土器は、7世紀後半から8世紀第I四半期にかけて消費された土器である。暗文土器は、中央河川跡に向かう傾斜面にかけて、帯状に集中して分布する(第50図)。南側の集中度が高く、北に行くほど薄くなる。同時期の他型式の食器と比較すると集中度が高い。

図化できた暗文土器は、第49図11～23、第51図1～6・18、第81図3・4である。第49図11～21は坏、22～第51図2は皿、第51図3は盤、4は鉢である。坏は、口縁部の短い第49図11～20と、口縁部が有段口縁となる21に分けられる。また盤は、底部が水平な22と、滑らかに彎曲する23、第51図1、底部が尖る2、口縁部が屈曲する3と分けられる。また4は、塊形の鉢である。なお高坏の第81図3・4は、後述する。

それぞれ細かな放射状暗文を描くが、第49図14のみが、内面中央に右回りの螺旋文を描く。第51図3は、暗文の間隔が粗く、また第49図20・22は、扁平化した器形から新しい様相がみられる。第51図1・2のみが、ローム層中の粘土を原土としているが、他は利根川水系の粘土を原土としている。

なお第51図5・6と18は、内面に暗文を施すが、8世紀後半から9世紀前半にみられる食器であるため、北島型暗文土器とは区別した。ともに埼玉県北部から群馬県の中毛地域にかけてみられる暗文土器だが、8世紀後半から9世紀前半の暗文土器は、分布の中心が、群馬県の中毛地域にある土器である。



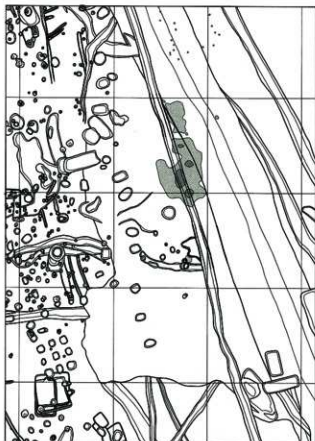
第49図 土器集中出土地点の出土遺物 (15)

5・6は、本来内面の暗文が大変細かく、螺旋文も描かれるが、両者は内面が、大変荒れており明瞭ではない。また18は、器内の薄い土器で比較的硬質に焼き上がる。底部側面をヘラケズリする。外面中央には、墨書「綱」が書かれている。18は、ローム層中の粘土を原土としているが、他は利根川水系の粘土を原土としている。

土師器皿

扁平な底部から外反する口縁が伸びる。大きさに大小二種がある。7世紀末から登場し、8世紀前半までみられる。絶対量は少ないが、土器集中出土地点内の等密分布図を作成した。皿は、中央河川跡に向かう傾斜面に二箇所集中がみられた。集中地点は、内弯口縁坏の集中と一部重なる。

図化できた皿は、第39図1、第51図21～第53図7



第50図 暗文土器の等密分布

であった。第39図1の口縁部は、北島型暗文土器と共通し、内面の状態は不明瞭だが、放射状の暗文があったのかもしれない。第51図21・22は、坏蓋模倣坏と共通する外反した口縁である。

第51図23、第53図1・2は、やや深めの皿である。3～6は、口縁部と底部の境があまりみられない。7は、扁平な底部で口縁がやや直立気味である。全て利根川水系の粘土を原土としている。

土師器鉢

鉢には、これまであげた有段口縁の鉢や比企型坏の鉢、坏身模倣形の鉢の他に直口縁・内屈口縁・外反口縁などの鉢がある。概して口縁部の器肉が厚く、胴部が薄いといった特徴がみられる。口縁部の破片資料では、甕と大差がないため、土器集中出土地点の等密分布図(第52図)は、土師器の煮沸具とともに作成した。

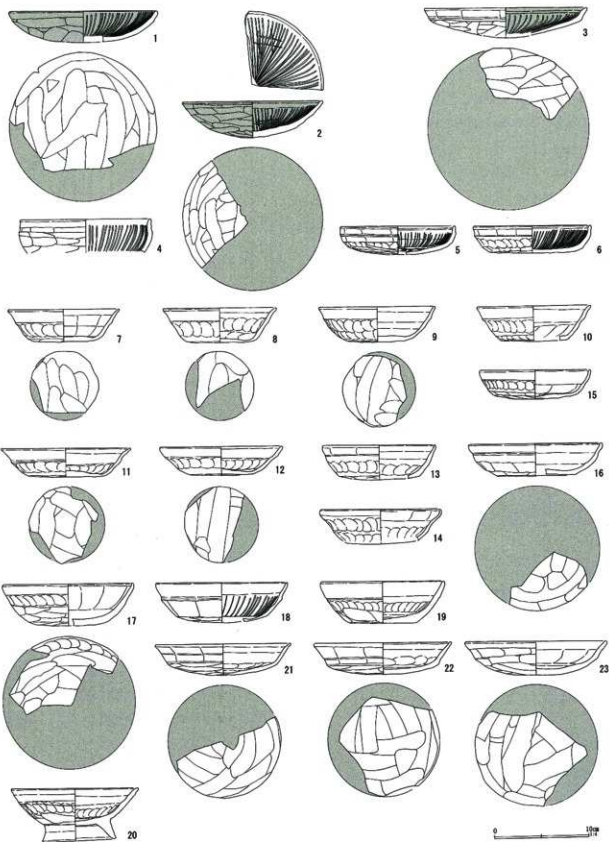
図化できた個体は、第55図1～3である。1は直口縁、2は内屈口縁、3は外反口縁のそれぞれ鉢である。赤彩や黒色処理などは施されない。全て利根川水系の粘土を原土としている。

須恵器坏蓋

須恵器の坏蓋には、古墳時代後期の合子形坏蓋と返りを持った7世紀以降の坏蓋がある。高台付塊の蓋もここでは含めて述べる。なお等密分布図(第54図)は、須恵器の坏身とともに作成した。

蓋の破片データについては、第5表にまとめた。7世紀第Ⅲ四半期は、湖西窯跡群の製品のみである。出土量は、8世紀第Ⅱ四半期まで上昇した。しかも注目すべきは、7世紀末以来、南比企窯跡群の製品は、出土量に変化がないが、末野窯跡群の製品は、急速に上昇するのである。なお8世紀後半以降は、蓋付の製品が、急速に減少する傾向にある。

図化した個体は、第55図9～第59図の18である。第55図9は、口縁部が高く直立した坏蓋である。天井部は欠損しているため分らない。口唇部の内側



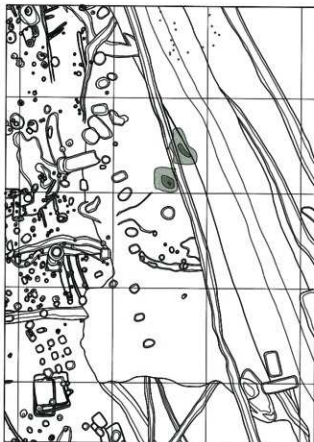
第51図 土器集中出土地点の出土遺物 (16)

には、沈線状の窪みが巡る。10・11は、口縁部と天井部の境が不明瞭な蓋である。10は、大形の蓋で口径145mmである。両者とも天井部は欠損し、つまみは明らかではない。11は、天井部を回転ヘラケズリしている。群馬県太田市金山窯跡群の製品か。

12は、口縁部がやや高く、口縁と天井部との間に沈線が巡る。内外面に緑色の自然釉が厚く付着し、硬質な焼き上がりである。猿投窯跡群の製品か。

13～20は、口縁部が内側にきつく内湾し玉状となる。13・14・17などは、口縁部と天井部の間が、沈線状となるが、全体的に天井部が高い独楽状となる。天井部はヘラ切りである。自然釉の付着はみられず、青灰色である。13～19までは、口径100mm前後、20のみ86mmである。湖西窯跡群の製品である。

第58図1～第59図5は、返りの付いた蓋である。天井部の欠損する土器もあるが、全てつまみがあっ



第52図 土師器鉢の等密分布

第5表 須恵器坏蓋の分類

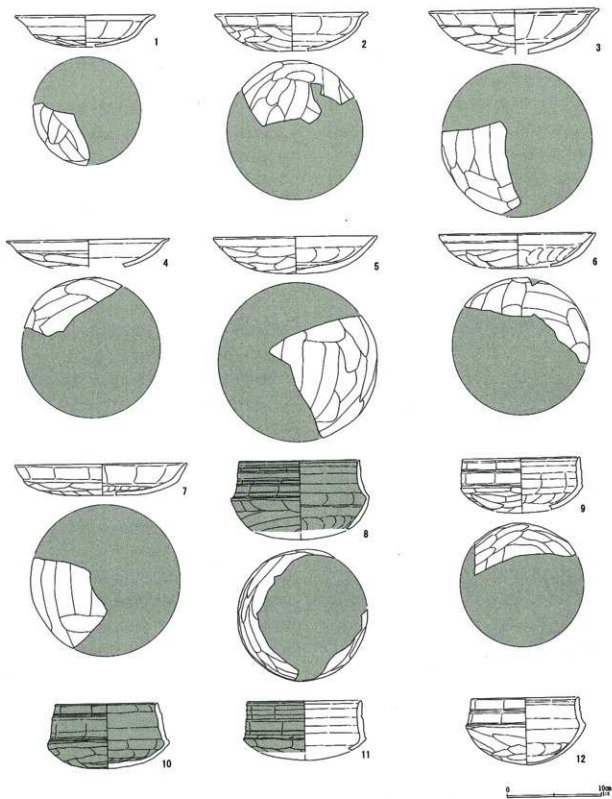
産地	時期不詳	カエリ	つまみ	点数
湖西	7CⅢ	アリ	不詳	4
			ボタン	2
南北企	7C末～8C初	アリ	ボタン	1
			不詳	8
	8CⅠ	アリ	不詳	12
			ボタン	1
	8CⅡ	アリ	不詳	10
			リング	2
	時期不詳	ナシ	不詳	76
不詳			12	
末野	7CⅣ	アリ	不詳	3
			ボタン	2
			宝珠状	1
			不詳	4
	7C末～8C初	アリ	ボタン	4
			不詳	28
	8CⅠ	アリ	ボタン	3
			不詳	47
	8CⅡ	アリ	ボタン	3
			不詳	29
時期不詳	ナシ	不詳	23	
		リング	1	
		不詳	24	
		ボタン	10	
	不詳		ボタン	10
			リング	4

たと考えたい。第58図1～6は、返りの端部が口縁部より突出する蓋である。突出度は、1～6に向かって小さくなり扁平化している。

2は、天井部外面に自然釉が付着する。素地は明るく、硬質に仕上がる。猿投窯跡群の製品か。他は硬質に仕上がり、湖西窯跡群の製品である。2～5は、低いボタン状のつまみが付けられる。2のつまみの中心部は低く、扁平である。

7の天井部は、回転ヘラ切りの痕跡が残りに、直線的に伸びる。返りは小さく、突線状に巡る。つまみは大きな宝珠状で高い。末野窯跡群の製品か。11も宝珠状のつまみである。自然釉が付着し、素地は白色に近い。猿投窯跡群の製品か。

9～17は、返りが口縁部より沈む。口径135mm前後の製品である。ボタン状つまみで中心がやや高くなる。13・15・17は、酸化炎焼成の蓋である。天井の高さが低くなるが、口縁から中心部にかけて直線的に緩い円弧を描く。全て末野窯跡群の製品である。



第53図 土器集中出土地点の出土遺物 (17)

18~26は、返りがより内側となり、口径150mm前後の製品である。ボタン状のつまみで中央は扁平である。天井部に腰がみられるようになり、やや屈曲する。全て末野窯跡群の製品である。

27~第59図5は、返りがさらに内側となり小さくなる。薄手の作りで、つまみもボタン状である。天井部に腰があり、大きく弯曲する。第59図5のつまみは、大きな宝珠状となっている。1は、酸化炎焼成である。5を除いて末野窯跡群の製品である。

6~15は、爪形の返りが付く蓋である。つまみはリング状となる。ほとんど腰が無く直線的に伸びる。返りは大変小さい。7は、扁平な蓋で、天井部外面に二条の沈線がみられることから、金属器を模倣した土器と考えたい。高台付境の蓋であろう。10の内面には、墨書があるが、判読できない。6・9・11は、末野窯跡群の製品であるが、他は南比企窯跡群

の製品である。

須恵器坏身

須恵器の坏身には、古墳時代後期の台子形坏身と、返りの無い7世紀以降の坏身がある。無台の塊もここでは坏として扱う。

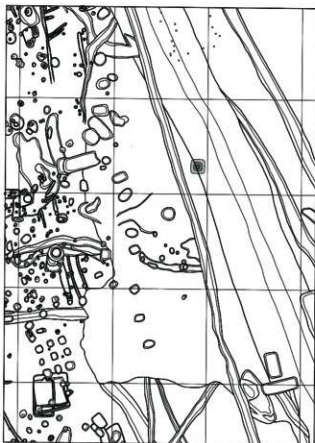
等密分布図は、須恵器の坏蓋・高台付境とともに食器として作成した。なお、食器は、湖西窯跡群、南比企窯跡群、末野窯跡群といった生産地ごとの等密分布図を作成した。第56図は、湖西窯跡群の製品の等密分布図である。出土点数が少ないため良好な出土状態を得られなかったが、一箇所に集中する傾向を確認することができた。

第57図は、南比企窯跡群の製品の等密分布図である。南比企窯跡群の製品は、8世紀中葉から9世紀前半にかけてみられる。同製品は、中央河川跡の中心近くに集中的な分布を確認できる。

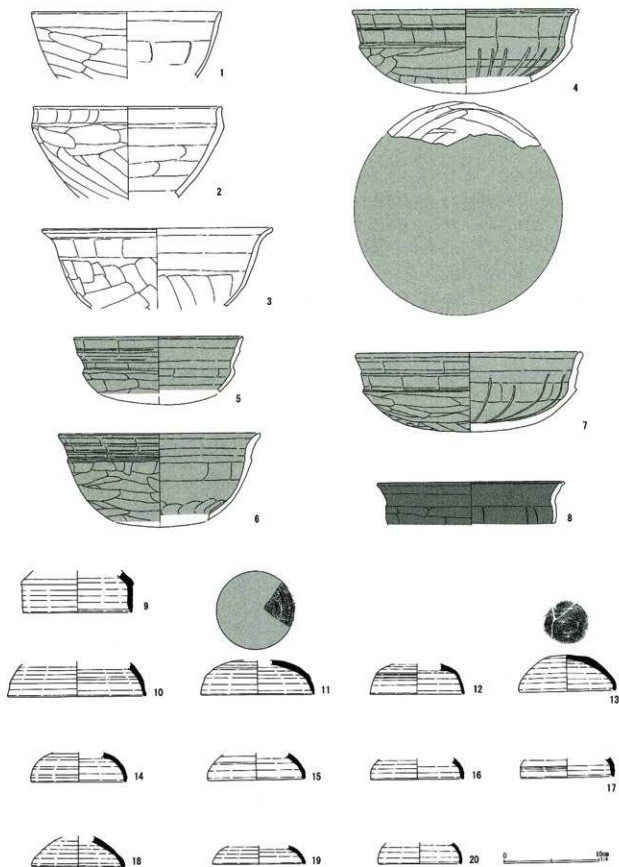
第60図は、末野窯跡群産の製品の等密分布図である。末野窯跡群産の製品は、7世紀から10世紀にかけて長く確認できるが、主体となるのは、9世紀前半から後半にかけてである。三~四箇所の集積箇所を確認できる。中央河川跡の傾斜面に向かって、斜めに堆積した状態を確認できる。

図化した個体は、第59図19~第75図の16である。第59図19~22は、返りの付いた坏身である。19は、器肉が厚く、底部を粗くヘラケズリすること、また口縁部を欠損するため短頸蓋かもしれない。東海西部の製品であろう。20~22は、底部をヘラ切りした坏身である。鋭い返りが付く。湖西窯跡群の製品。

23以降は、返りの付かない坏である。23~第60図10は、底径が小形で底部をヘラ切り、または回転ヘラケズリを施した土器である。第61図2のみ手持ちヘラケズリである。第59図26は、底部に「井」または「井(いげた)」の宛書が残る。23~25は、湖西窯跡群の製品である。29・第60図5は、南比企窯跡群の製品である。2は藤岡・吉井窯跡群、4は秋間窯跡群の製品であろう。他は、末野窯跡群の製品であ



第54図 須恵器蓋の等密分布



第55図 土器集中出土地点の出土遺物 (18)

る。

11は、口縁内側に沈線をめぐらす坏である。南比企窯跡群の製品である。

12~14は、やや大きめの坏で底部をヘラ切り調整している。14は、6世紀後半の坏蓋かもしれない。12は末野窯跡群、13は秋間窯跡群、14は末野窯跡群の製品である。

第61図15~第66図6は、底部の中心までを回転ヘラケズリしている。第61図18は、底部を手持ちヘラケズリするが、他は、回転ヘラケズリである。口径の大きな坏から小さな坏とした。なかでも第61図15~第64図2は、大形の製品である。

第61図17、第62図1・7・10・12、第63図1~5、7~11、14・15、第64図1・3~5・8・9・11~20・22~24、第65図1~24、第66図1~5は、南比企窯跡群の製品である。第64図12は、秋間窯跡群の

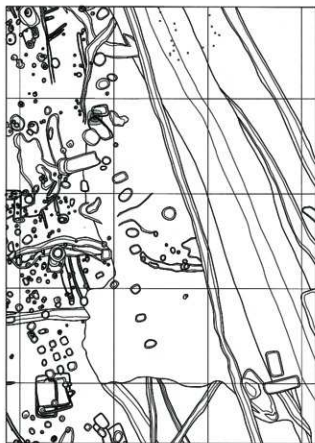
製品である。第64図21は、底部を回転ヘラ切りの後、手持ちヘラケズリを行っていることや、大量の雲母粒子を含んでいることなどから新治窯跡群の製品と考えた。他は、末野窯跡群の製品である。

なお第64図17・19、第66図11、17は、酸化炎焼成の土器である。

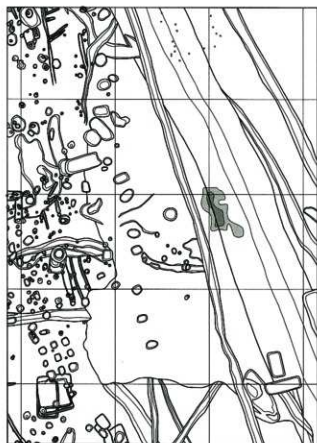
以下の土器には、墨書がみられる。第63図7は「中」、8は「家刀自」である。

第64図2は「土」、4は「下」、7は「大口」であり、口は女か、8は「中」、11は「土万」、12は「成」網か、13は「網」、14は「中」、15は「口」、16は「中」、17は「網」、18は「下」、19は「中」、20は「念」、22は「土」である。

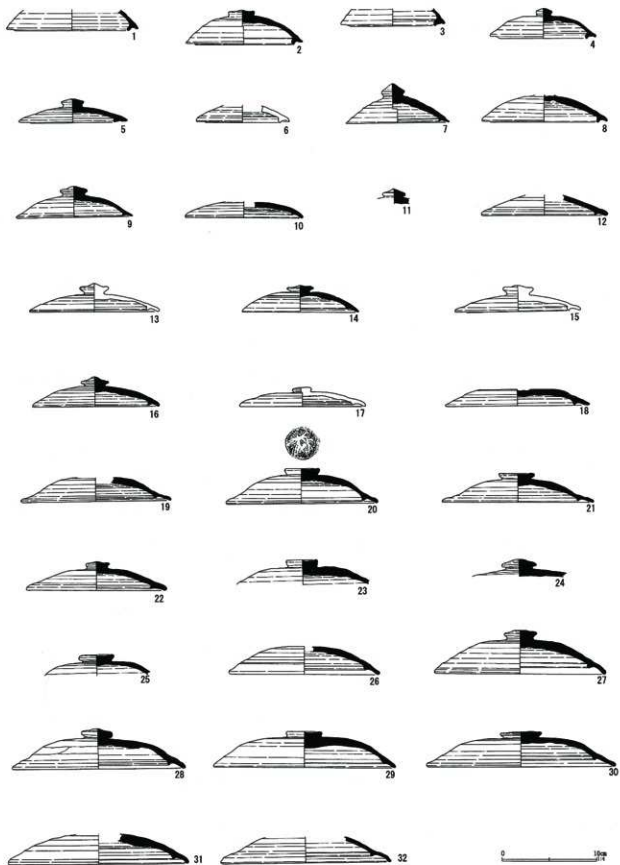
第65図1は「奈」、2は「土万」網か、3は「土万」、7は「土万」、8は「網」、9は「土」、6は「土万」、10は「宿」か「右」、12は「土」、13は「土万」、



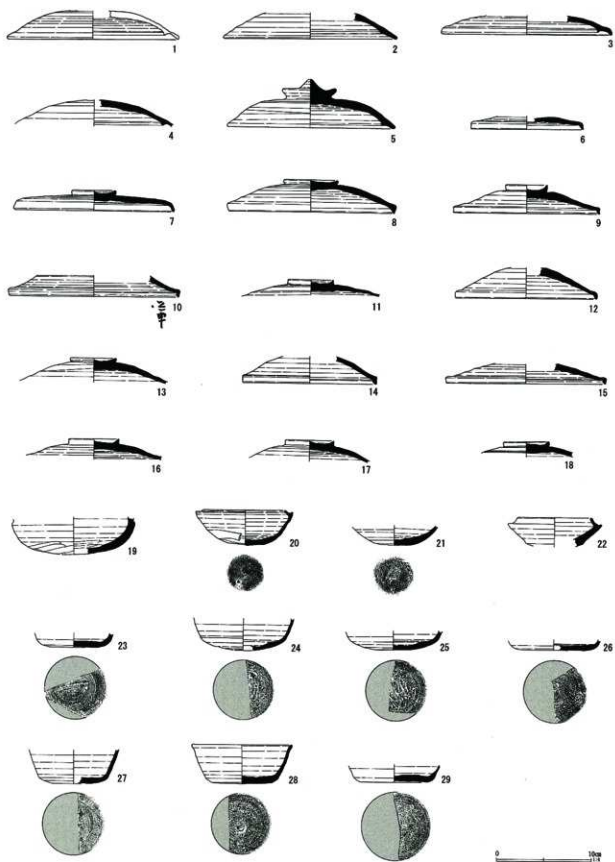
第56図 湖西産須恵器坏の等密分布



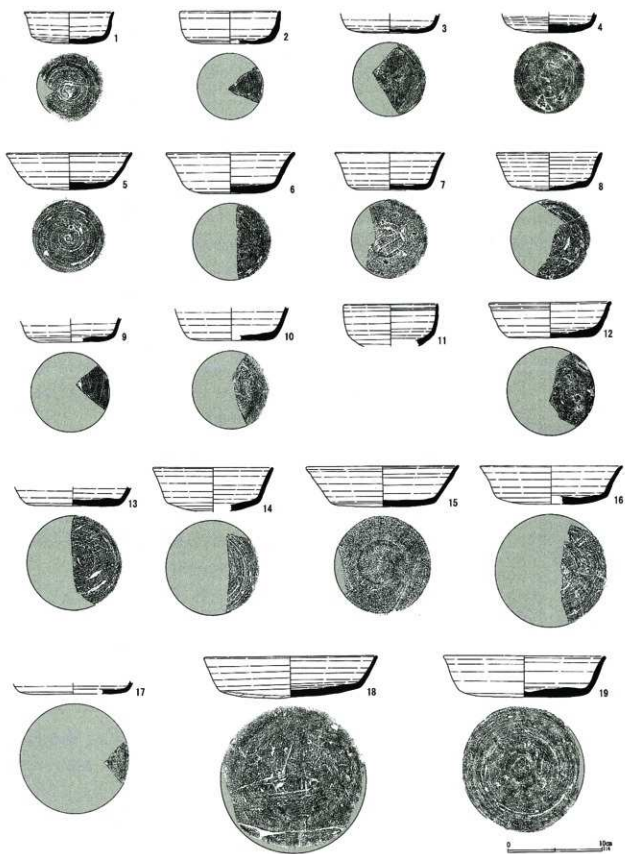
第57図 南比企産須恵器坏の等密分布



第58図 土器集中出土地点の出土遺物 (19)



第59図 土器集中出土地点の出土遺物 (20)



第60図 土器集中出土地点の出土遺物 (21)

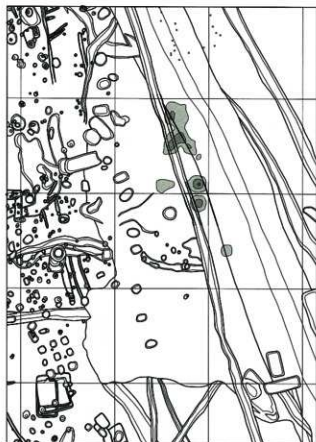
15は「土万」、16は「綱」、17は「土万」、20は「土万」、21は「土万」、22は「益」、23は「綱」、24は「綱」土万か、である。

第66図1は「中中」、2は「綱」、3は「中」、4は「土万」、5は「綱」10は「□(土)」か、である。

また第64図5は、底部の周囲を焼成後に刻みを付けている。

第66図11～第71図26は、底部の周辺を回転ヘラケズリしている。底径の大きな坯から小さな坯へとならべた。第66図20、第70図14は、末野窯跡群の製品である。他は、南比企窯跡群の製品である。なお第66図11、第67図10・19、第64図17・19、第66図11・17は、酸化炎焼成である。

以下の土器には、墨書がみられる。第66図11は「中人君」、13は「□」、14は「中」、15は「綱」、16は「土」、20は「土」、21は「□」、22は「□」、24は「綱」か



第61図 末野産須恵器坯の等密分布

「中」である。

第67図1は「土万」、2は「中」、3は「第成」、5は「綱」、7は「益」、9は「綱」、13は「綱」、15は「土万」、16は「綱」、18は「中」、21は「土万」、22は「□(土万)」か、23は「主」か「綱」である。

第68図2は「中」、3は「土」、4は「下内」か「下田」か「下由」、5は「綱」、6は「益」、7は「第成」、8は「土万」、9は「土」、10は「国万」、11は「土万」、12は「主」か、13は「土万」、14は「土万」、15は「土」、17は「万」、18は「綱」か「土万」、19は「綱」、20は「中中」、26は「□」、27は「綱」、16は「土」である。

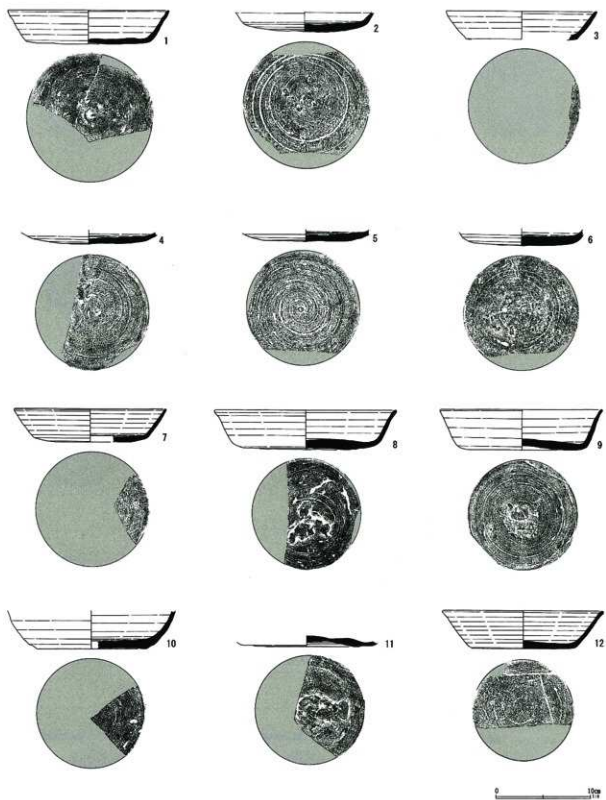
第69図2は「中」、3は「綱」、5は「第成」、11は「土万」、13は「土万」、14は側面に「介」か芥か「我」、底面に「陽」(底面)、16は「土」か「土万」、17は「綱」、15は「世」、18は「□」、19は「所」、20は「益」、21は「綱」、22は「綱」、23は「楊井」、24は「綱」、25は「土万」である。

第70図1は「中」、2は「土万」、3は「土万」か「益」か、4は「下」、5は「□(綱)」か、6は「綱」、7は「下内」、8は「益」、9は「中」、10は「綱」、11は「益」、12は「中」、13は「土万」、14は「綱」、15は「文」、16は「第成」、17は「丸人」、18は「土万」、23は「中」、25は「綱」である。

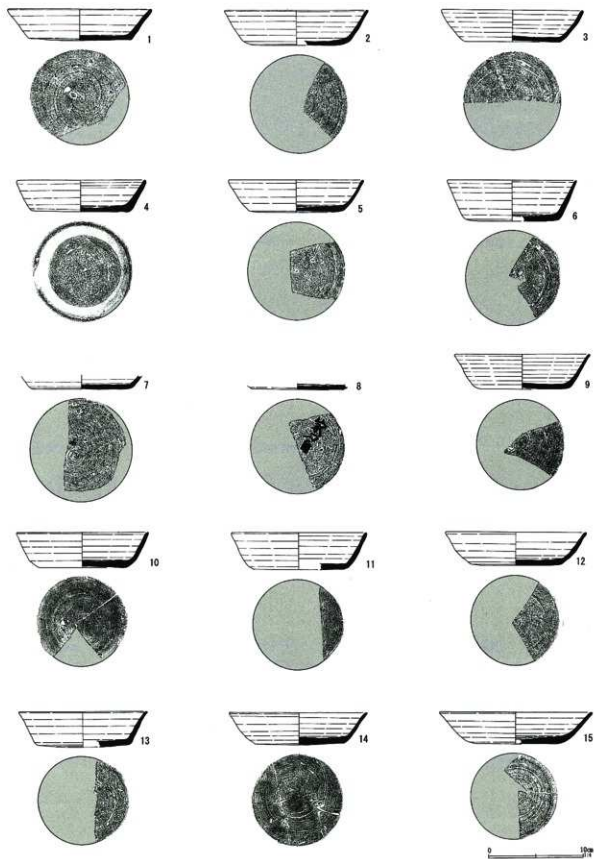
第71図1・2は「綱」、4は「綱」、5は「綱」、6は「土万」、7は「綱」、8は「綱」、10は「□人」、11・12は「綱」、13は「土」か「土万」、14は「綱」、15は「□(丸)人」、16は「□(綱)」、17・18は「綱」、19は「中」、20・21は「綱」、22は「益」、24は「綱」、25は「綱」である。

以下の土器には、刻書がみられる。第67図11は、ロクロの惰力を利用したヘラ書が、底部にみられる。第68図7・16・第70図26は「十」または「×」、第70図6は「一」、第70図20は「二」、第71図5は「十」の上に「八」、第71図3は「大」のそれぞれヘラ書がみられる。

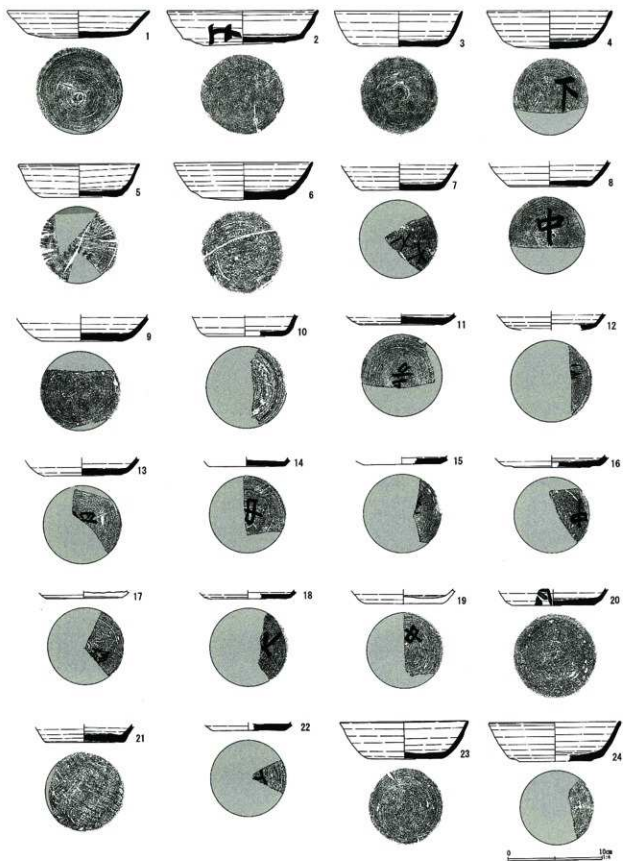
第71図27～第73図25は、底部を糸切り後、調整を



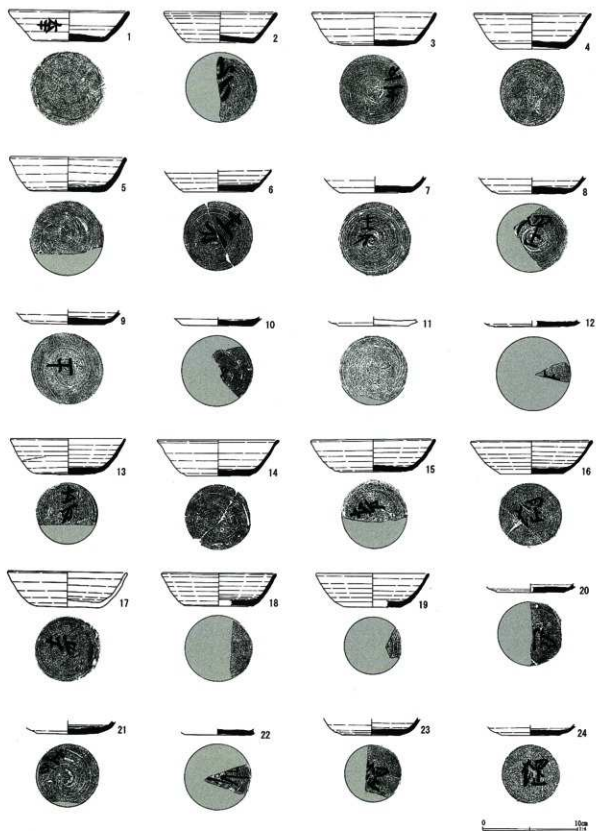
第62図 土器集中出土地点の出土遺物 (22)



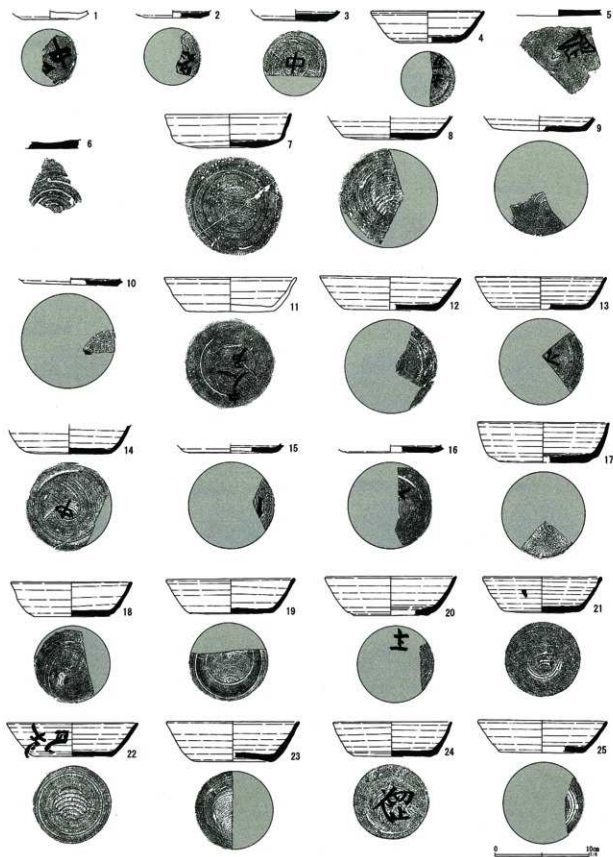
第63図 土器集中出土地点の出土遺物 (23)



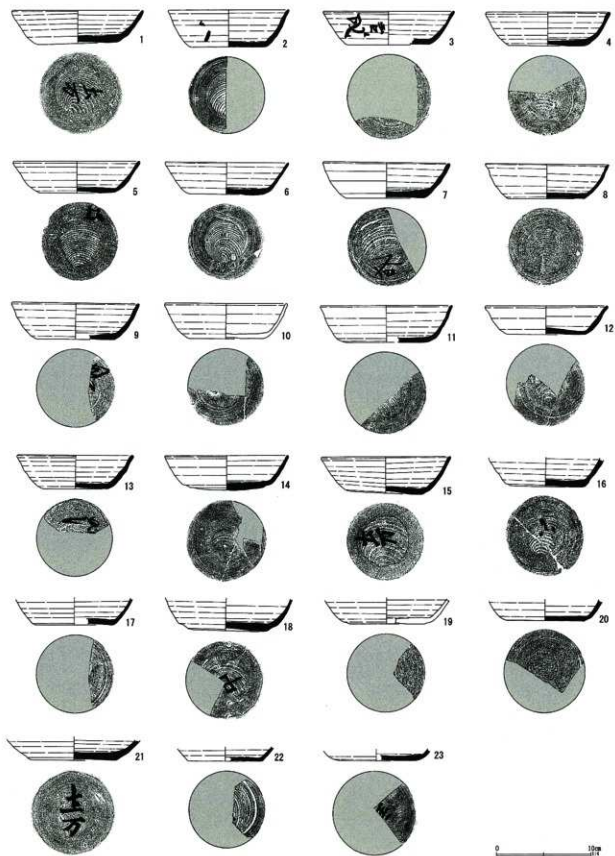
第64図 土器集中出土地点の出土遺物 (24)



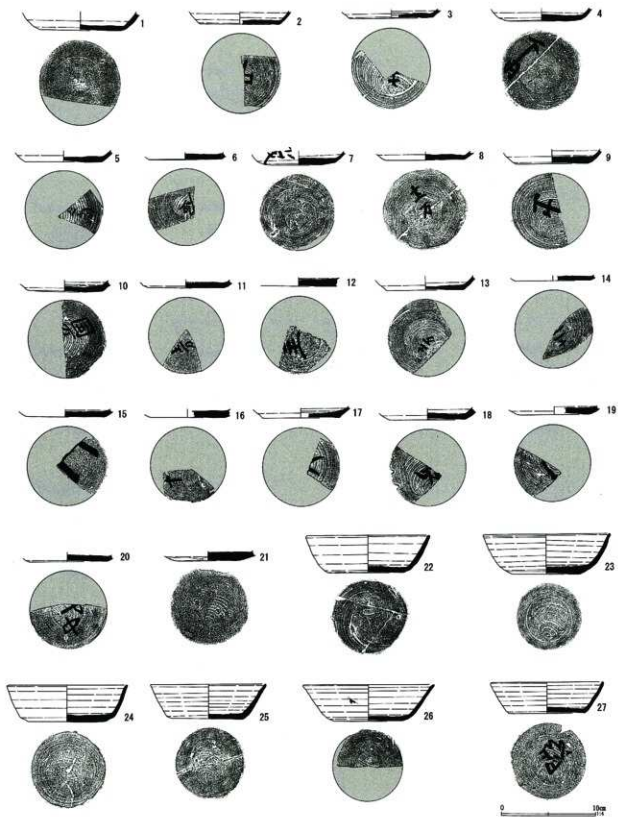
第65図 土器集中出土地点の出土遺物 (25)



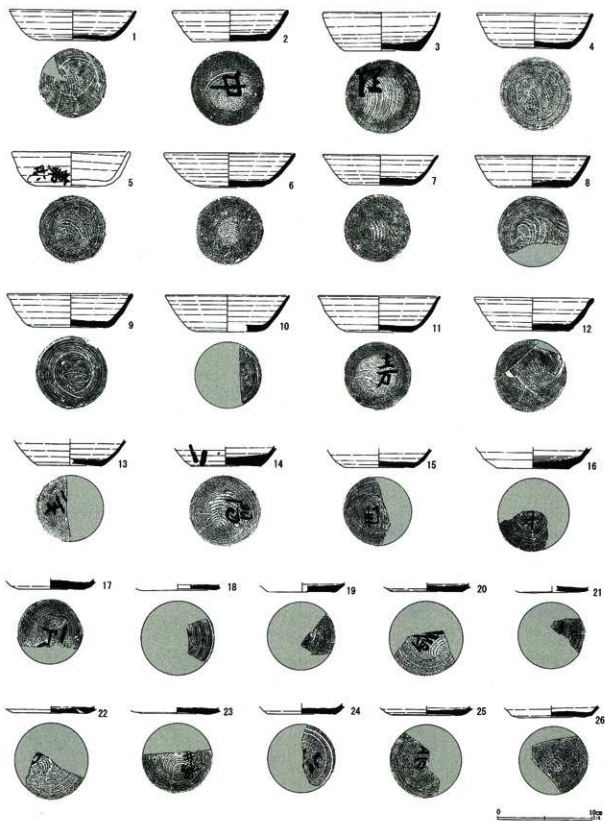
第66図 土器集中出土地点の出土遺物 (26)



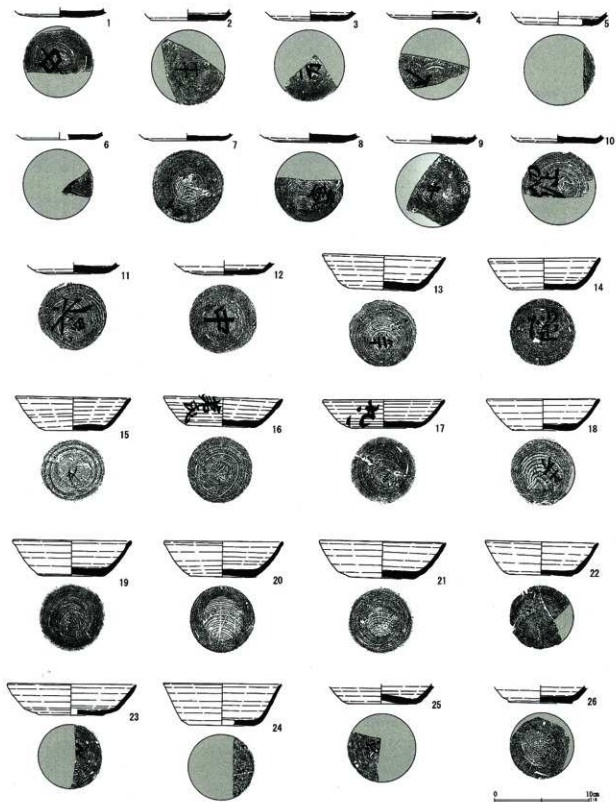
第67図 土器集中出土地点の出土遺物 (27)



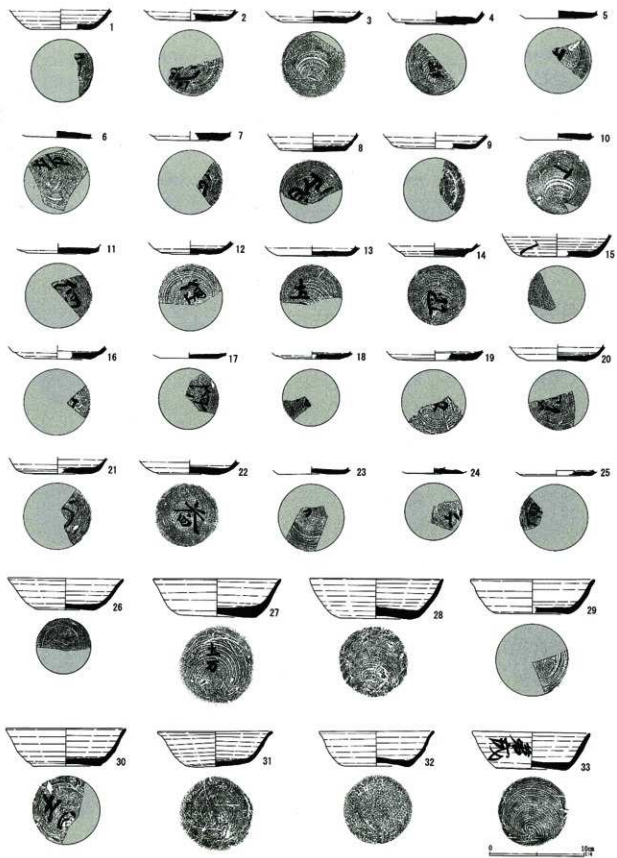
第68図 土器集中出土地点の出土遺物 (28)



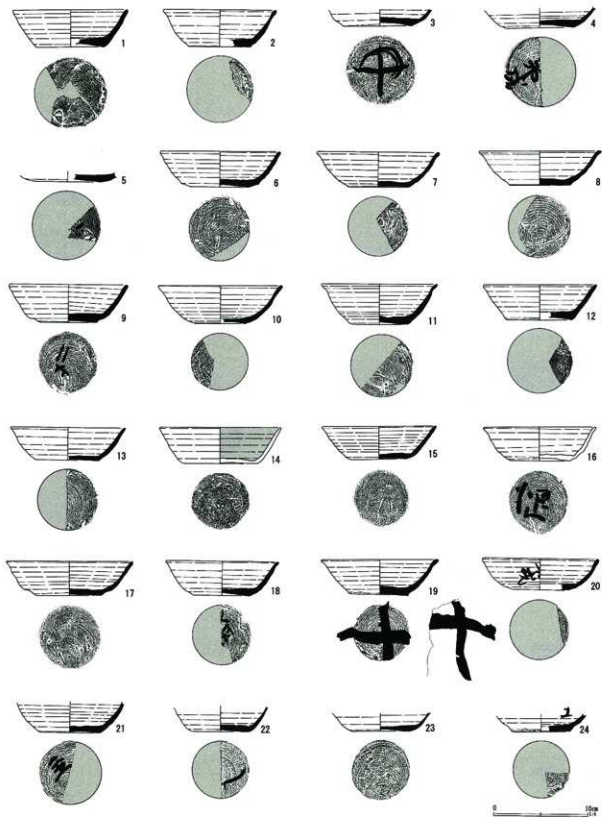
第69図 土器集中出土地点の出土遺物 (29)



第70図 土器集中出土地点の出土遺物 (30)



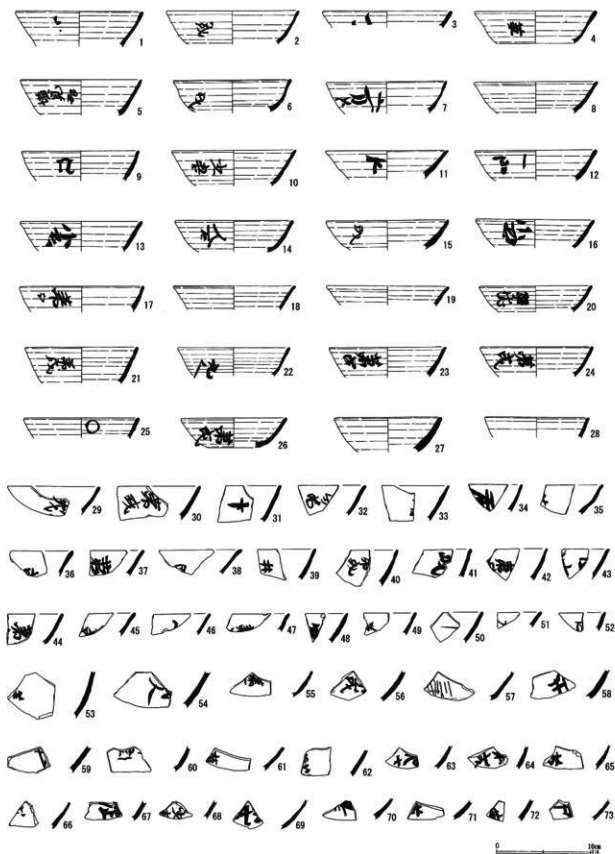
第71図 土器集中出土地点の出土遺物 (31)



第72図 土器集中出土地点の出土遺物 (32)



第73図 土器集中出土地点の出土遺物 (33)



第74図 土器集中出土地点の出土遺物 (34)

施さない製品である。底径の大きな坏から小さな坏へとならべた。第71図28・30・32・33、第72図2・8・13・15・17・19～第73図5・8・10、12・14・19・21・24・26は、南比企窯跡群の製品である。第71図31、第73図18は東金子窯跡群、第72図14は、新治窯跡群の製品であろう。他は末野窯跡群の製品である。

第72図14は、内面黒色処理を行った酸化炎焼成の土器である。内面のミガキはみられない。焼成後、底部に「道」と宛書している。第73図1・13・18・23は、酸化炎焼成である。12は、口縁部に「十」とヘラ書がみられる。

第71図23・27は「土万」、30は「土万」、33は「第成」、第72図3は「中」か「田」、4は「第成」、5は「綱」か「土万」、9は「□」、16・18は「綱」、19は内面に「十」、外面に「十」、20は「第成」、21は「主」、22は「□(丸)人」、24は「土」である。

第73図2は「主」、3は「綱」か「土」、4は「土」か「綱」か「万」、5は「土」、7は「文」、8は「綱」、9は「綱」、12は「十」、19は「綱」、20は「戌」か「大」、21は「綱」、22は「綱」か、24は「綱」である。

第73図26は、底部側面にヘラケズリがみられ、皿の可能性が高い。南比企窯跡群の製品である。第73図27・28は、底部に回転ヘラケズリがみられ、側辺部にも手持ちヘラケズリが施される土器である。秋間窯跡群の製品か。

第73図29～第74図28は、口径復元ができたが、底部まで復元できなかった破片である。墨書土器を中心に掲載した。第73図29は「人君」、30は「□成」、第成ではない、31は「第成」である。

第74図1は「第」、第成か、2は「第成」、3は「土」か「成」、4は「第成」、5は「横見郡」、6は「成」、第成か、7は「土万呂」、9は「呂」か、10は「少君」、11は「下」、12は「□」□門か、13は「小君」、14は「人君」、15は「□成」、第成か、16は「小君」、17は「第成」、20は「第成」、21は「第成」、22は「丸

人」、23は「第成」、24は「第成」、25は「□」、26は「第成」である。

なお、第74図18・19は、新治窯跡群の製品であり、他は、南比企窯跡群の製品である。

また第74図29～第75図16は、器形復元のできなかった小破片のうち、墨書のみられた破片を掲載した。

第74図29～73は、墨書の書かれた坏の破片である。29は「第成」、30は「第成」、31は「土」か「十」、32は「□第」「分第」か、33は「綱」、34は「君」、35・36・37は「第」、38は「綱」、39は「井」、40は「第成」、41は「成」、42は「第成」、43は「□成」、44は「第成」、45は「第成」、46は「□」、47は「第成」、48・49は「第」、50は「□」、51は「第」、52は「□」、53は「第」、第成か、54は「□人」「成人」か、55は「第成」、56は「第成」、58は「我」か、59は「弋」「我」か、60は「□」である。61は「第」、第成か、62は「□」、63は「□」、第成ではない、64は「第成」、65は「第」、66は「第成」、67は「綱」、68は「少君」、69は「第成」、70は「君」、71は「第」、72は「第□」、第成か、73は「中」か、である。

第75図1は「綱」、2は「綱」、3は「土」、4は「中」、5は「下」、6は「土万」、7は「中」、8は「綱」、9は「中」、10は「綱」か「土万」、11は「綱」か「土」、12は「□(綱)か」、13は「綱」、14は「綱」、15は「中」、16は「主」か「綱」である。

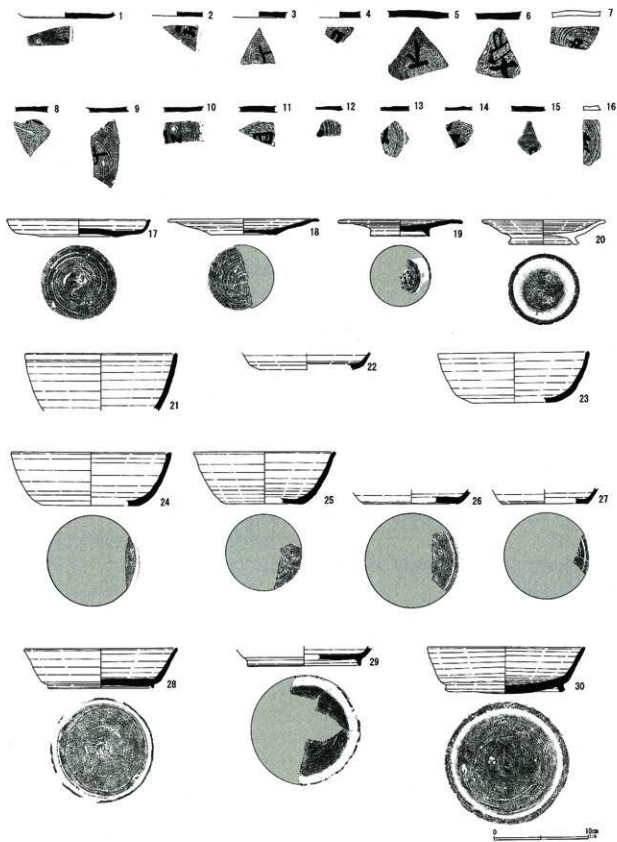
また第74図57は、刺書土器である。焼成後に刻み目を入れる。現存部には、縦にキザミが七本引かれる。第75図8の底部には、「十」または「×」の線刻がある。

なお、第74図57～59は、末野窯跡群の製品であり、他は、南比企窯跡群の製品である。

須恵器皿

皿には、無台の皿と高台の付いた皿がある。等密分布図は、須恵器の坏蓋・高台付境とともに食器として作成した。

図化できたのは、無台皿の第75図17・18、高台付



第75図 土器集中出土地点の出土遺物 (35)

皿の19・20である。17は、底部が、回転ヘラ切りで上げ底状になっており、口縁部が、垂直に立ち上がる。18は、直線的に開き、口唇部で外反する坏である。19・20の高台は低い。全て糸切り未調整である。20は、酸化炎焼成である。17・19は南比企窯跡群、18は東金子窯跡群、20は末野窯跡群の製品である。

須恵器碗

碗には、高台のない無台碗、胴部に稜のある稜碗、底部に高台の付く高台付碗がある。碗についても等密分布図は、須恵器の坏蓋・高台付碗とともに食器として作成した。

図化できたのは、無台碗の第75図21・23～27、稜碗の22、高台付碗の28～第76図18・第79図12である。中でも第75図21～24は、金属製の模倣品と考えたい。すなわち21は、口縁部の外面に沈線を描くこと、22は、外稜を持った稜碗であること、23・24は、口唇部が、内側に小さく影らむ佐波理模倣である。

また無台碗ながら26・27は、底部周辺に小さく高台状の部分が、削り出されており、いわゆる「削り出し高台」となっている。28は、その特徴が顕著で紐状の高台が巡る。23～27は、底部周辺をヘラケズリされている。

22は末野窯跡群、26～28は秋間窯跡群、他は、南比企窯跡群の製品である。

第75図29～第76図14は、底部の中心部まで回転ヘラケズリを施した高台付碗である。高台は低く小さい。第75図29・30、第76図6・12は末野窯跡群、第76図4・14は、秋間窯跡群、他は南比企窯跡群の製品である。第76図5・7は、酸化炎焼成である。7・10は、高台が欠損するが、低い高台が付いていたと判断したい。

なお第76図1は、底部が低く、内面のロクロ目が見え顕著であること、内面に自然釉が付着していることなどから長頸壺の底部と判断した。湖西窯跡群の製品である。

第76図2は、「仲人」と墨書がある。

第76図15～第76図18、第79図12は、底部糸切り未調整で高台を付けた碗である。高台は高く、内端接地である。第79図2・8・9は南比企窯跡群、11・12は利根川水系の原土が用いられている。11・12は、酸化炎焼成である。

第76図16は「主」、第79図7は「綱」と墨書がみられる。

なお79図20は、南比企窯跡群で作られた耳皿である。底部に「十」と刻書され、その上に「下」と墨書されている。

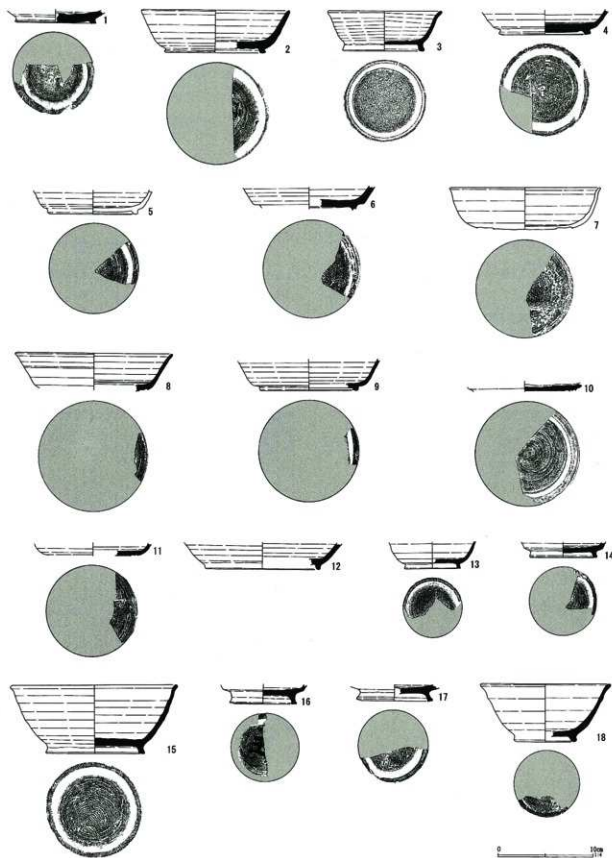
黒色土器

黒色土器には、無台碗、高台付皿、高台付碗、小壺、鉢などがある。内外面黒色処理を施す黒色土器A、内面のみ黒色処理を施す黒色土器Bの二種があり、土器集中出土地点からは両者が出土した。内面には、横方向に細かなヘラミガキが施こされ、その上に黒色処理が施される。

黒色土器は、出土点数が少ないため一括して等密分布図(第77図)を作成した。黒色土器は、二箇所集積が窺われるが、北側がとくに激しい。集積は、中央河川に臨んでいた。

図化できたのは、第79図13～19の7点である。13・14は、無台碗である。底部はヘラケズリが見られる。15は、高台付碗である。16は、高台付皿である。以上は黒色土器Bである。全て利根川水系の原土が用いられている。

17は、碗の破片である。内外面黒色研磨されている。18は、小壺である。底部から口唇部の全面に細かなヘラミガキが施されている。高台部にもミガキが施されている。内面にもミガキが見られる。ミガキは、全て横方向のミガキである。高台が小さくまた口縁部も小さいことから三彩陶器の小壺を模倣した土器であろう。19は、内外面黒色処理を施した小形の鉢である。17～19は、黒色土器Aである。産地不詳。



第76図 土器集中出土地点の出土遺物 (36)

灰軸陶器

土器集中出土地点から灰軸陶器の出土は、大変少ない。よって等密分布図（第78図）によると一ヶ所に集中するようである。灰軸陶器で図化できた個体は、第79図22～27の僅かに6点である。全て皿である。22の見込みには、ハケヌリでたっぷり軸がかけられている。22は、黒笹14号窯式の愛知県猿投窯跡群の製品である。

23は、ツケガケによって内外面に施軸された皿である。大原2号窯式の東濃地方の製品である。底部は回転ヘラ削りが施され、中央に「模」と近似した文字「模」が書かれる。

24は、内面のみハケヌリによる施軸が見られる皿である。底部は回転ヘラケズリが施される。黒笹90号窯式段階の二川窯跡群の製品である。

25の残存部には、施軸は見られない。小形の皿で

ある。虎渓山1号窯式の東濃地方の製品である。

26は、ツケガケによって内外面に施軸された皿である。底部は糸切りである。虎渓山1号窯式の東濃地方の製品である。

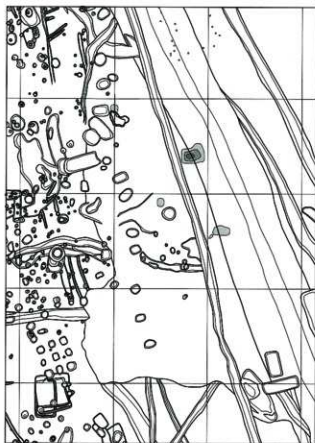
27は、残存部に施軸が見られない。底部は糸切りである。大原2号窯式の東濃地方の製品である。

土師器高坏

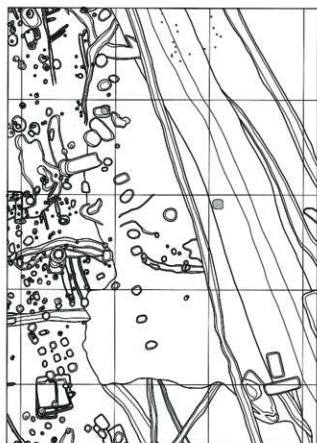
高坏は、脚部が長脚と短脚、口縁部が有段口縁と坏蓋模倣形がある。後者の内面には、放射状の暗文が見られることから北島型暗文土器の一つである。

土器集中出土地点内の集積は、等密分布図（第80図）によると、ほぼ中央部と北に寄った場所に集積されたようである。出土点数が少ないため集積数は少ない。

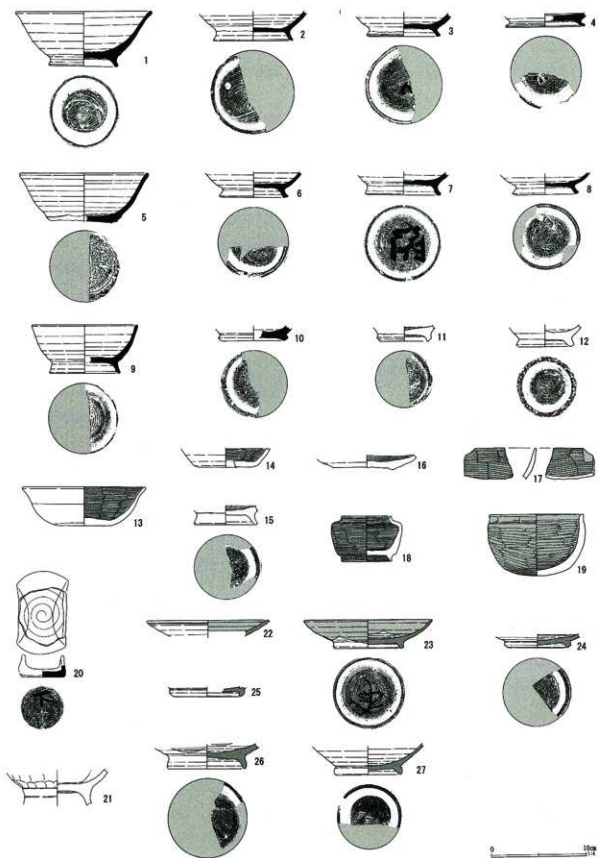
図化できた個体は、第81図1～9の9点である。



第77図 黒色土器の等密分布



第78図 灰軸陶器の等密分布



第79図 土器集中出土地点の出土遺物 (37)

1は、長脚の高坏、2～9は、短脚の高坏である。2の口縁部は有段口縁、3・4は、坏蓋模倣であるが、内面に放射状暗文を施す。他は、脚部の残欠である。全て利根川水系の原土が用いられている。

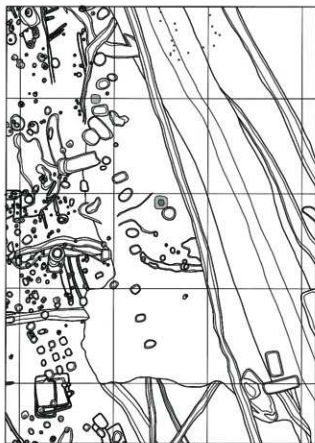
須恵器高坏

土器集中出土地点から須恵器の高坏は出土が大変少なく、等密分布図を作成できなかった。

図化できた個体は、第81図10～12の3点であった。10は、坏部破片である。直立する口縁のやや下方に沈線が見られる。11は、小形ながら長方形二段三方透のある長脚高坏である。12は、脚部に透しの無い高坏である。三点とも南比企窯跡群の製品である。

須恵器仏鉢模倣土器

金属製、あるいは木質漆塗りの仏鉢を模倣した土



第80図 土師器高坏の等密分布

器である。図化した個体（第81図13）は、胴部下半を欠損するが、独楽形の尖頭形となるであろう。薄く丁寧に作られており、口縁部は、金属器と酷似した形状となっている。南比企窯跡群の製品である。

須恵器コップ形土器

計量用の拵とされる小形の須恵器である。底部は承切りの後、周辺をヘラケズリする。口縁部はやや内弯しつつ垂直に立ち上がる。きわめて薄く丁寧に作られる。個体数が少なく、第81図14～16の三点を図化できたに過ぎない。

14は、胴部中央に墨書があり、残存部のみであるが、「フ」と記されている。15は、上部を欠損し、16は、胴下半を欠損する。三点とも南比企窯跡群の製品である。

土師器甌

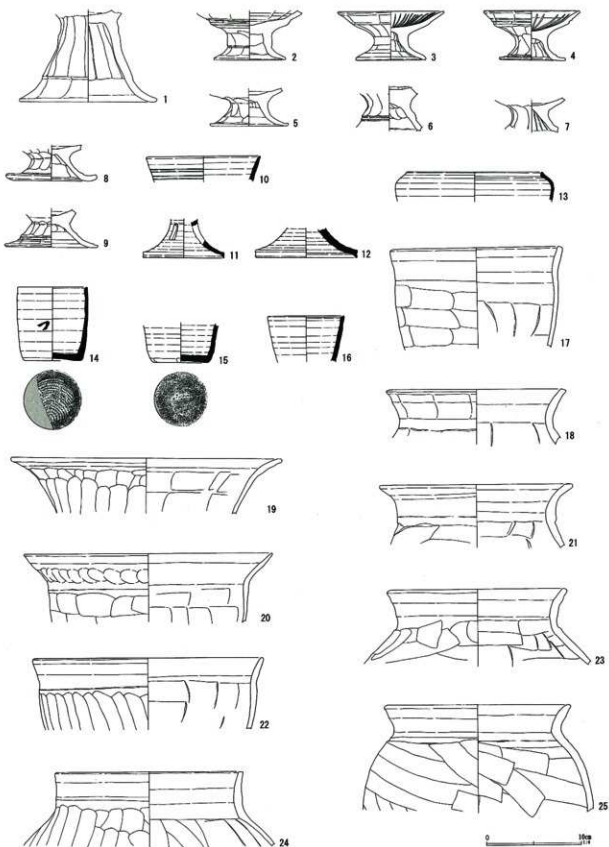
甌は、バケツ形の甌と砲弾形の甌がある。土器集中出土地点からは、両者が出土した。出土数が少ないため等密分布図は、土師器甌とともに作成した。

口縁部から底部まで図化できる資料が無い場合、口縁部付近のみを図化した。第81図17・19～22の四点である。19は、バケツ形、他は砲弾形である。17・20には、肩部に横位のヘラケズリが施される。他は縦のヘラケズリのみである。全て利根川水系の原土が用いられている。

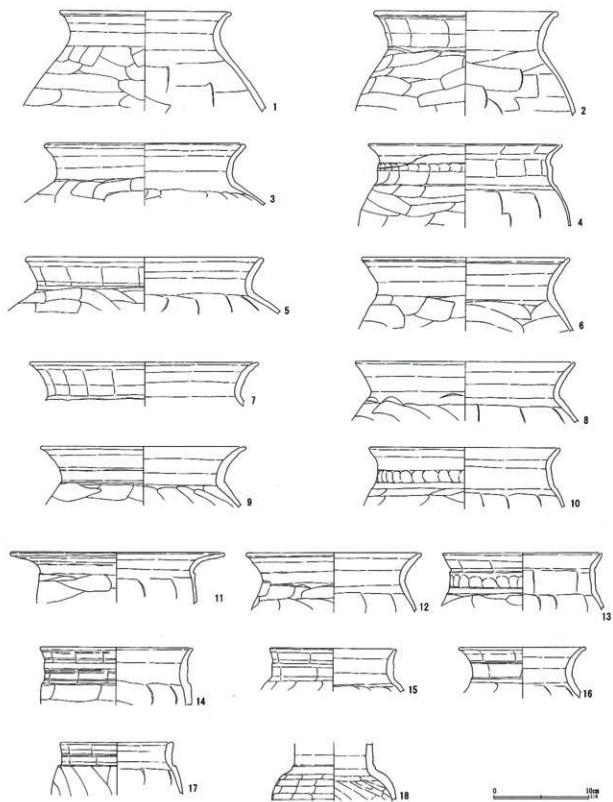
土師器の貯蔵・煮沸具

土師器甌については、口縁部の破片資料を抽出し、形式ごとに一世紀単位で分類した。ここでは、甌の他に甌・壺・鉢などの煮沸具や貯蔵具も含めた。その後グリッド（小グリッド）単位の出土点数をまとめ、一覧表（第27表）とした。

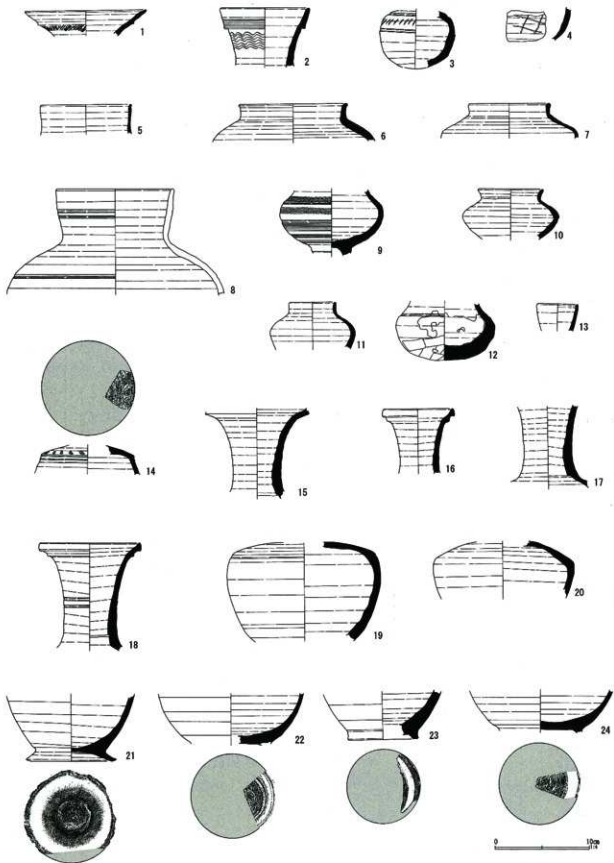
土器集中出土地点からは、6世紀から9世紀にかけての口縁部資料をみる事ができた。総点数850点の内、6世紀から7世紀は、438点、8世紀は、331点、9世紀は、36点となる。6世紀から7世紀



第81図 土器集中出土地点の出土遺物 (38)



第82図 土器集中出土地点の出土遺物 (39)



第83図 土器集中出土地点の出土遺物 (40)

の土師器の甕が圧倒的に多い。

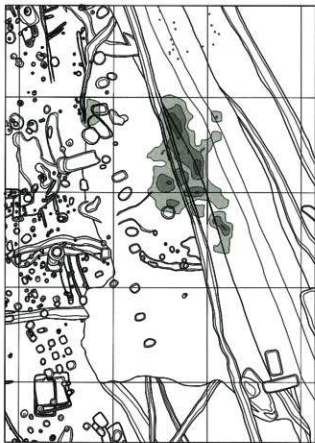
6世紀後半から7世紀の貯蔵・煮沸具の構成は、甕292点、甌35点、壺111点、鉢43点である。甕は、口縁部の形状で素口縁の甕245点、有段口縁甕43点、比企型坏と一般的に共存する甕（これを仮に比企型甕としておく）4点と分類できる。

図化できた6世紀後半から7世紀の貯蔵・煮沸具は、第81・82図に掲載した。

第81図の17・19・20・22は、砲弾形の甌である。利根川水系の原土が用いられている。17と22は6世紀後半、他は7世紀前半である。

18・21は、素口縁の長胴甕である。18は、比企・入間地域の原土が用いられ、21は、利根川水系の原土が用いられている。6世紀後半である。

23～25は、素口縁の壺である。利根川水系の原土が用いられた6世紀後半の製品である。



第84図 土師器甕の等密分布

第82図の14～16は、有段口縁の甕である。小形の甕か鉢に近い。14は、7世紀後半、15は、6世紀後半、16は、7世紀前半である。

18は、小形の壺である。あるいは甌か。利根川水系の原土を用いた6世紀後半の土器である。

第53図の8～12は、有段口縁の鉢であり、口縁の形状は、坏身模倣形である。口縁部が二段に構成され、全て利根川水系の原土が用いられている。8・10・11は、黒色処理が施されるが、他にはみられない。8は、6世紀第IV四半期、9～11は、7世紀第I四半期、12は、7世紀第II四半期である。

第55図1は、直口縁の鉢で小形の甌かもしれない。2は、内屈口縁の鉢である。3は、外反口縁の鉢である。1～3は、7世紀後半である。4～7は、有段口縁の鉢である。内外面に黒色処理が施され、4・7の内面には、放射状のヘラミガキがみられる。利根川水系の原土が用いられる。4・7は6世紀後半、5・6は、7世紀前半である。

8は、比企型坏の鉢である。内面の全体、外面の残存部までが赤彩を施している。比企・入間の土が用いられており、6世紀後半である。

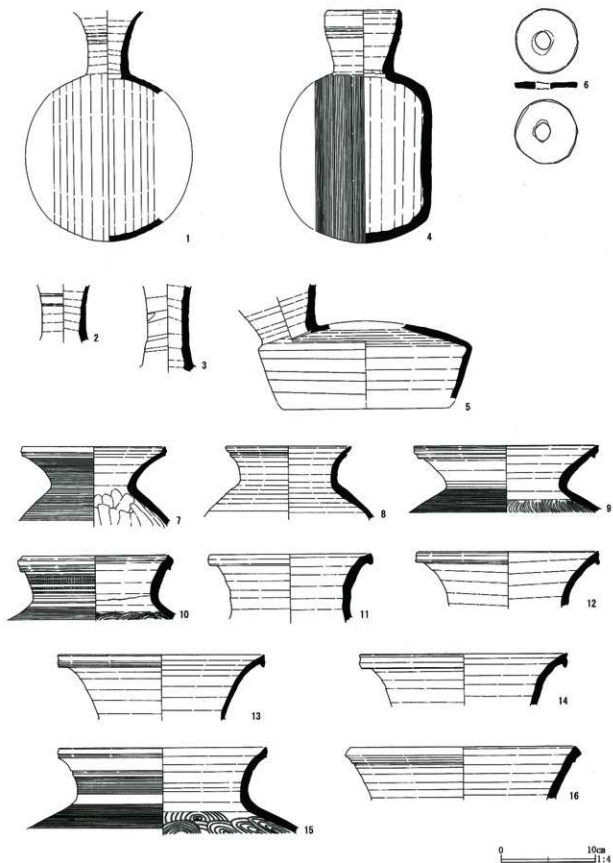
8世紀の貯蔵・煮沸具は、甕のみである。

図化できた8世紀の甕は、第82図に掲載した。

1～3、5～9は、胴の張った壺であろう。利根川水系の原土が用いられた8世紀前半の土器である。11・12は、長胴甕である。ともに8世紀前半の土器で、利根川水系の原土が用いられている。

9世紀の貯蔵・煮沸具も、甕のみである。図化できた9世紀の甕は、第82図に掲載した。第82図の10・13は、「コ」の字状口縁の甕である。利根川水系の原土を用いた9世紀前半の土器である。

なお土師器甕は、口縁部以外、時期を確定できないので、土師器甕全体の出土傾向を等密分布図で表すこととした（第84図）。これによると土師器甕の分布は、土器集中出土地点全体から出土した土師器の等密分布（第27図）と、ほぼ重なることが明らかである。



第85図 土器集中出土地点の出土遺物 (41)

須恵器甕

土器集中出土地点から出土した須恵器甕のうち図化できたのは、第83図1～4の4点である。1は、口縁部のみ資料である。極端に大きく広がる。やや下部に櫛歯状工具による連続刺突が施される。2は、口縁部下端にカキ目を施し、頸部に波状文を施す。甕と判断したが、小形の壺かもしれない。

3は、甕の胴部である。上半を二条の沈線で区画した中には、櫛歯状工具を斜めに刺突した文様が描かれる。4は、甕の胴部破片である。窠書で「井」と記されている。全て南比企窯跡群の製品である。

須恵器短頸壺

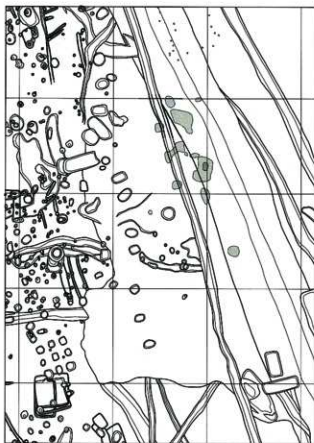
土器集中出土地点から出土した短頸壺で図化できたのは、第83図5～14の10点である。

5～7は、大形の短頸壺であり、口縁部が短く直

立する。5・6は南比企窯跡群、7は東金子窯跡群の製品である。8は、口縁部がやや長い壺の破片である。口縁部中央に二条の沈線、肩部に一条の沈線が引かれる。おそらく金属器の模倣品であろう。酸化炎焼成で赤銅色に仕上がっている点も気になる。南比企窯跡群の製品である。

9は、胴部中に二条に沈線を引き、その上下に細かな波状文を施している。下位の沈線の下には、細かなカキ目が施される。脚付の小形壺である。湖西窯跡群の製品である。10～12は、小形の短頸壺である。12は、肩部に一条の沈線が描かれる。4点とも南比企窯跡群の製品である。

13は、小形の壺で口縁部に自然釉がかかる。湖西窯跡群の製品である。14は、短頸壺の蓋である。天井部には、櫛歯状工具によって連続した斜めの刺突が施される。南比企窯跡群の製品である。



第86図 須恵器壺・甕の等密分布

須恵器瓶類

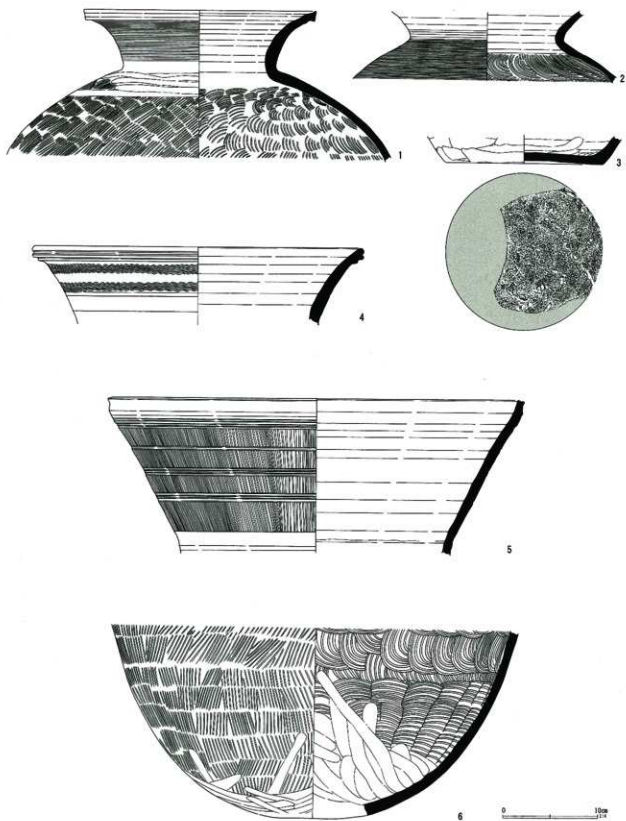
土器集中出土地点から出土した瓶類は、第83図15～第85図5の15点である。なかでも長頸瓶は、第83図15～24の10点である。

15～18は、長頸瓶の頸部以上である。15・16には、自然釉の付着が見られる。18は、頸部の中央に二条の沈線が巡らされている。16は、フラスコ形瓶の破片かもしれない。15～17は、東海地方西部の製品、18は南比企窯跡群の製品である。

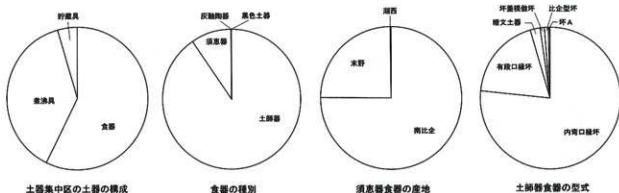
19・20は、肩部の破片である。21～24は、長頸瓶の胴下半である。全て高台が付く。21の高台は長く扁平である。20・23は東海地方西部、21は秋間窯跡群、他は南比企窯跡群の製品である。

第85図1・2の2点は、フラスコ形瓶である。1は、小破片ながら全体像が復元できた破片である。球形の胴部で口縁部に二条の沈線が巡る。2は、やはり頸部に二条の沈線が巡るフラスコ形瓶である。前者は湖西窯跡群、後者は猿投窯跡群の製品である。

3は、淨瓶の頸部であろう。やや下方に二条の沈線が巡る。東海地方西部の製品である。



第87図 土器集中出土地点の出土遺物 (42)



土器集中区の土器の構成

食器の種類

須恵器食器の産地

土師器食器の型式

種別	器種	重量(g)	6世紀	7世紀	8世紀	9世紀	10世紀	11世紀
土師器	坏蓋模倣杯	5406						
土師器	有段口縁杯	108546						
土師器	比企型杯	5645						
土師器	暗文土器	13253						
土師器	内湾口縁杯	442518						
土師器	杯A	1921						
須恵器	湖西産杯	105						
須恵器	南比企産杯	45280						
須恵器	末野産杯	14909						
灰釉陶器	灰釉陶器	25						
黒色土器	黒色土器	460						

種別	重量(g)	種別	重量(g)
食器	638,067	土師器	577,288
煮沸具	425,817	須恵器	60,294
貯蔵具	60,139	灰釉陶器	25
合計	1,114,022	黒色土器	460

※左図の網掛けは、
黒色土器が土器集中
区へ集積された時期
を指す。

産地	重量(g)
湖西	105
南比企	45,280
末野	14,909

第88図 土器集中出土地点の器種構成と変化

4は、提瓶である。胴部には細かなカキ目がある。頸部には、二条の沈線が巡る。南比企窯跡群の製品である。

5は、平瓶である。胴部は丁寧にヘラケズリが施され、天井部のやや下に風船穴が空けられる。天井部には、厚く自然釉の降灰が見られ、東海地方の製品である。

なお6は、須恵器杯の底部を利用した紡錘車である。やや大きめの穴が空けられている。末野窯跡群の製品である。

須恵器壺・甕

須恵器の壺と甕の出土量は、決して少なくはないが、図化できる遺物は少ない。壺または甕については、等分布図を作成した(第84図)。中央河川に沿ってやや散漫に須恵器の壺・甕類が集積されていた。極端な集積箇所は見られなかった。

図化したのは、第85図7～第87図6の16点であった。第85図7～12は壺、第85図13～第87図6は甕で

ある。とくに第87図4～6は、大甕である。第85図7は、口縁部から肩部にかけて細かなカキ目がある。9・10は、肩部にカキ目がある。15は、頸部中央に沈線が引かれ、その下にカキ目がある。

第87図1の口縁部にはカキ目がある。胴部外面には細かなタタキ目の痕跡が残る。2は、肩部に細かなカキ目がある。4は、口縁部に二条の沈線が引かれ、その中に波状文が巡る。5は、二本一対の沈線三本が引かれ、縦の櫛目が見られる。6は、タタキ目の明瞭な大甕の胴下半である。

第85図15、第87図1は東海地方西部、第85図14・16は末野窯跡群、第87図4は秋間窯跡群の製品であろう。他は、南比企窯跡群の製品である。

土器集中出土地点から出土した土器を集計したのが、第86図である。分類別の構成を円グラフで示した。これによると土器集中出土地点の土器の構成は、食器57%、煮沸具38%、貯蔵具5%と食器が過半数を占める。煮沸具の集積量が意外と多い。

つまり土器集中出土地点に集積された土器は、供食や饗宴などで用いられた土器を一括して廃棄したのではなく、一般的な堅穴住居で用いられた土器が、ここに集積されたのであった。また須恵器の貯蔵具が、5%と極端に少ないのも土器集中出土地点へ主体的に廃棄されていなかったことを示している。

また食器の種類を見ると土師器91%、須恵器9%に対し、灰釉陶器・黒色土器は、僅か1%にも満たない。灰釉陶器や黒色土器が少ないのは、9世紀後半以降は、終息に向かっていくことと共通する。さらにこの土器集中出土地点へ積極的に土器が集積されたのが、7世紀後半から8世紀にかけてであること、8世紀第Ⅱ四半期にピークがあったことを考えると、土師器が、九割を超えることは、自然な数値といえよう。

一方、須恵器の食器を生産地別に見ると、圧倒的に南比企窯跡群の製品が多い。南比企窯跡群の製品は75%、末野窯跡群の製品は、25%である。この数

値も8世紀後半に北高遺跡で消費した須恵器の大半が、南比企窯跡群で生産された製品であったこと、北高遺跡で末野窯跡群の製品を積極的に消費した9世紀以降は、土器集中出土地点への集積が終息に向かったことから肯定できる数値である。

しかも土師器の食器を型式別にみると、内湾口縁坏が、実に77%と4分の3を占め、次いで有段口縁坏19%、暗文土器2%、坏蓋模倣坏・比企型坏1%という比率である。内湾口縁坏が圧倒的に多いのは、前述のように土器集中出土地点の集積のピークが、8世紀第Ⅱ四半期にあったことを示す。

後述するように墨書土器は、8世紀第Ⅲ～Ⅳ四半期にかけてピークとなり、10世紀前葉まで細々と見られるが、この状況は、土器集中出土地点へ土器を集積したピークとは重ならない。

なお、この他に土器集中出土地点からは、金銅製の耳環11点、貝類・桃の種・木片などが出土した。耳環については、第30表に一覧を記載した。

第6表 土器集中出土地点遺物(1)

採掘番号	部の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第29回	1	J-21グリッド-7	土師器	坏蓋模倣坏	126	120	55	55	にぶい黄橙	利根川	
第29回	2	I-21グリッド-8	土師器	坏蓋模倣坏	118	110	50	75	灰褐	利根川	
第29回	3	I-21グリッド-70 1~4層	土師器	坏蓋模倣坏	128	114	44	30	にぶい橙	利根川	
第29回	4	J-21グリッド-66 1~4層	土師器	坏蓋模倣坏	125	113	43	60	にぶい橙	利根川	
第29回	5	I-21グリッド-19・49 1~3層	土師器	坏蓋模倣坏	120	110	39	100	橙	利根川	
第29回	6	I-21グリッド-89	土師器	坏蓋模倣坏	113	110	-	20	内-橙 外-にぶい赤褐	ローム土	
第29回	7	I-21グリッド-78	土師器	有段口縁坏	120	101	-	15	黒褐	利根川	
第29回	8	SE-44	土師器	坏蓋模倣坏	117	107	-	15	内-灰白 外-黒	利根川	
第29回	9	I-22グリッド-11	土師器	有段口縁坏	120	93	-	5	橙	利根川	
第29回	10	I-21グリッド	土師器	坏蓋模倣坏	106	97	30	60	橙	利根川	
第29回	11	I-21グリッド	土師器	坏蓋模倣坏	110	100	-	15	橙	利根川	
第29回	12	I-21グリッド-99	土師器	比企形坏	110	89	-	10	にぶい黄橙	比企・入黒	
第29回	13	I-21グリッド-55	土師器	比企形坏	100	97	32	55	内-にぶい橙 外-にぶい褐	比企・入黒	
第29回	14	J-22グリッド 地山直上	土師器	坏身模倣坏	140	146	-	20	橙	利根川	
第29回	15	I-21グリッド-55	土師器	坏身模倣坏	126	123	35	30	にぶい橙	利根川	
第29回	16	J-22グリッド	土師器	坏身模倣坏	130	137	-	35	にぶい橙	利根川	
第29回	17	J-22グリッド-22	土師器	坏身模倣坏	120	128	37	70	内-黒褐 外-橙	利根川	
第31回	1	I-21グリッド-40	土師器	坏身模倣坏	122	122	-	5	黒褐	比企・入黒	
第31回	2	J-21グリッド-30	土師器	坏身模倣坏	114	123	-	30	にぶい橙	利根川	
第31回	3	J-22グリッド-62	土師器	坏身模倣坏	112	120	41	75	内-灰黄褐 外-にぶい黄橙	利根川	
第31回	4	J-22グリッド-72	土師器	坏身模倣坏	111	118	-	25	黒褐	利根川	
第31回	5	J-22グリッド-73	土師器	坏身模倣坏	109	124	-	25	黒褐	利根川	
第31回	6	J-21グリッド	土師器	坏身模倣坏	109	114	-	5	暗褐	比企・入黒	

第7表 土器集中出土地点遺物(2)

検出番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第31図	7	I-21グリッド-68 1~4層	土師器	坏身模倣坏	100	-	-	25	橙	利根川	
第31図	8	I-21グリッド-38	土師器	坏身模倣坏	109	-	-	20	にぶい橙	利根川	
第31図	9	I-21グリッド-100	土師器	坏身模倣坏	98	100	34	99	にぶい橙	利根川	
第31図	10	J-22グリッド	土師器	坏身模倣坏	93	94	-	30	にぶい橙	利根川	
第31図	11	J-22グリッド-43 1~4層	土師器	有段口縁坏	139	119	43	25	黒褐	利根川	
第31図	12	J-22グリッド-43 1~4層	土師器	有段口縁坏	140	110	40	40	内-にぶい黄橙 外-灰白	利根川	
第31図	13	I-21グリッド	土師器	有段口縁坏	120	115	-	20	黒褐	利根川	
第31図	14	包含層中	土師器	有段口縁坏	140	116	46	30	黒褐	利根川	
第31図	15	J-22グリッド	土師器	有段口縁坏	138	122	39	50	黒褐	利根川	
第31図	16	I-22グリッド-42	土師器	有段口縁坏	138	115	-	20	内-黒褐 外-橙	利根川	
第31図	17	J-22グリッド-22	土師器	有段口縁坏	134	119	-	10	橙	利根川	
第31図	18	J-21グリッド-29・40	土師器	有段口縁坏	131	110	-	25	橙	利根川	
第33図	1	J-22グリッド-21・31	土師器	有段口縁坏	133	124	50	35	にぶい黄橙	利根川	
第33図	2	J-21グリッド-16	土師器	有段口縁坏	135	110	42	20	内-黒褐 外-灰褐	利根川	
第33図	3	J-21グリッド	土師器	有段口縁坏	129	111	45	30	黒褐	利根川	
第33図	4	J-21グリッド-50	土師器	有段口縁坏	133	96	42	30	灰褐	利根川	
第33図	5	J-22グリッド	土師器	有段口縁坏	129	116	46	40	黒褐	利根川	
第33図	6	SD-131北半	土師器	有段口縁坏	133	110	37	40	にぶい橙	利根川	
第33図	7	I-21グリッド SD-377	土師器	有段口縁坏	128	107	-	15	黒	利根川	
第33図	8	J-21グリッド	土師器	有段口縁坏	118	111	43	25	黒褐	利根川	
第33図	9	J-21グリッド-18	土師器	有段口縁坏	117	115	35	30	黒	利根川	
第33図	10	H-22グリッド-53	土師器	有段口縁坏	123	114	45	25	褐灰	利根川	
第33図	11	I-20グリッド-19	土師器	有段口縁坏	119	94	43	70	黒褐	利根川	
第33図	12	J-22グリッド	土師器	有段口縁坏	120	100	50	35	内-褐灰 外-灰白	利根川	
第33図	13	I-20グリッド-8・18	土師器	有段口縁坏	118	94	47	60	橙	利根川	
第33図	14	J-21グリッド-No32	土師器	有段口縁坏	120	105	44	99	にぶい黄橙	利根川	
第33図	15	I-21グリッド	土師器	有段口縁坏	120	98	43	30	にぶい橙	利根川	
第33図	16	I-21グリッド-1	土師器	有段口縁坏	119	100	37	40	内-黒褐 外-にぶい黄橙	利根川	
第33図	17	I-21グリッド	土師器	有段口縁坏	116	102	40	100	褐灰	利根川	
第34図	1	J-21グリッド 地山直上	土師器	有段口縁坏	120	106	43	40	橙	利根川	
第34図	2	I-20グリッド-8	土師器	有段口縁坏	119	103	36	40	内-橙 外-灰白	利根川	
第34図	3	I-20グリッド	土師器	有段口縁坏	116	102	39	100	灰白	利根川	
第34図	4	J-21グリッド 地山直上	土師器	有段口縁坏	118	98	45	25	黒褐	利根川	
第34図	5	J-21グリッド-30	土師器	有段口縁坏	126	109	42	30	内-灰黄褐 外-黒褐	利根川	
第34図	6	I-21グリッド-79	土師器	有段口縁坏	117	98	30	20	黒褐	利根川	
第34図	7	J-21グリッド	土師器	有段口縁坏	126	110	43	80	内-灰黄褐 外-黒褐	利根川	
第34図	8	J-21グリッド	土師器	有段口縁坏	120	103	40	20	内-黒褐 外-にぶい黄橙	利根川	
第34図	9	I-21グリッド	土師器	有段口縁坏	123	112	47	40	浅黄橙	利根川	
第34図	10	I-20グリッド	土師器	有段口縁坏	118	98	41	60	褐灰	利根川	
第34図	11	I-21グリッド-2	土師器	有段口縁坏	120	92	38	20	橙	利根川	
第34図	12	J-21グリッド 地山直上	土師器	有段口縁坏	102	108	39	25	黒褐	利根川	
第34図	13	J-22グリッド	土師器	有段口縁坏	-	-	-	50	黒褐	利根川	
第34図	14	I-21グリッド-64	土師器	坏蓋模倣坏	115	102	34	85	浅黄橙	ローム台地	
第34図	15	J-21グリッド地山直上	土師器	有段口縁坏	119	95	40	30	内-にぶい黄橙 外-黒褐	利根川	
第34図	16	I-20グリッド-9	土師器	有段口縁坏	118	100	39	40	内-明褐灰 外-灰褐	利根川	
第34図	17	J-21グリッド	土師器	有段口縁坏	118	104	40	50	内-灰白 外-黒褐	利根川	
第34図	18	J-22グリッド-72	土師器	有段口縁坏	120	114	-	15	橙	利根川	
第34図	19	SE-44	土師器	有段口縁坏	118	102	-	10	黒褐	利根川	

第8表 土器集中出土地点遺物(3)

探洞番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第34図	20	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	118	105	35	100	にぶい橙	利根川	
第34図	21	1-20グリッド SD-327	土師器	有段口縁杯	116	100	-	25	にぶい黄橙	利根川	
第34図	22	SD-252	土師器	有段口縁杯	117	93	42	10	にぶい黄橙	利根川	
第34図	23	SE-44	土師器	有段口縁杯	118	102	-	5	黒褐	利根川	
第35図	1	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	123	107	42	100	褐灰	利根川	
第35図	2	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	116	95	37	80	黒褐	利根川	
第35図	3	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	124	110	36	50	内一橙 外一明黄褐	利根川	
第35図	4	J-21グリッド-9	土師器	有段口縁杯	108	90	35	95	灰白	利根川	
第35図	5	J-22グリッド 谷	土師器	有段口縁杯	109	109	38	99	橙	利根川	
第35図	6	1-21グリッド	土師器	有段口縁杯	112	86	38	60	灰白	利根川	
第35図	7	1-21グリッド	土師器	有段口縁杯	108	92	36	50	黒褐	利根川	
第35図	8	1-21グリッド	土師器	有段口縁杯	107	96	45	50	にぶい黄橙	利根川	
第37図	9	J-21グリッド	土師器	有段口縁杯	107	90	36	100	内一黒褐 外一灰白	利根川	
第35図	10	1-21グリッド	土師器	有段口縁杯	114	96	42	85	灰白	利根川	
第35図	11	J-21グリッド	土師器	有段口縁杯	107	96	37	80	灰黄褐	利根川	
第35図	12	1-20グリッド	土師器	有段口縁杯	115	100	38	70	黄橙	利根川	
第35図	13	J-22グリッド	土師器	有段口縁杯	107	104	38	40	橙	利根川	
第35図	14	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	109	90	37	100	内一褐灰 外一黒褐	利根川	
第35図	15	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	106	93	36	100	内一にぶい黄褐 外一黒	利根川	
第35図	16	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	107	87	33	100	黒褐	利根川	
第35図	17	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	110	94	35	90	灰黄褐	利根川	
第35図	18	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	110	-	-	25	内一橙 外一明赤褐	利根川	
第35図	19	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	112	94	38	95	灰白	利根川	
第35図	20	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	110	95	40	100	黒褐	利根川	
第35図	21	J-21グリッド	土師器	有段口縁杯	105	90	36	100	内一灰黄褐 外一黒	利根川	
第35図	22	J-22グリッド	土師器	有段口縁杯	102	91	33	50	にぶい黄橙	利根川	
第35図	23	1-20グリッド	土師器	有段口縁杯	102	92	39	30	灰褐	利根川	
第35図	24	J-21グリッド-10	土師器	有段口縁杯	104	89	35	80	内一黒褐 外一にぶい黄褐	利根川	
第35図	25	J-22グリッド	土師器	有段口縁杯	101	78	36	70	にぶい黄橙	利根川	
第35図	26	J-21グリッド-10	土師器	有段口縁杯	99	93	32	100	赤にぶい黄橙 外一黒褐	利根川	
第35図	27	J-21グリッド	土師器	有段口縁杯	103	86	37	100	褐灰	利根川	
第35図	28	1-21グリッド69・79 1~4番	土師器	有段口縁杯	104	89	35	99	内一にぶい黄橙 外一黒褐	利根川	
第35図	29	1-21グリッド-79	土師器	有段口縁杯	100	83	28	70	褐灰	利根川	
第37図	1	1-21グリッド	土師器	有段口縁杯	102	86	34	70	褐灰	利根川	
第37図	2	1-20グリッド-9	土師器	有段口縁杯	-	-	-	100	褐灰	利根川	
第37図	3	1-21グリッド-90	土師器	有段口縁杯	102	93	37	35	内一黒褐 外一にぶい黄褐	利根川	
第37図	4	J-22グリッド	土師器	有段口縁杯	100	89	36	20	黒褐	利根川	
第37図	5	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	98	82	36	100	内一褐灰 外一灰白	利根川	
第37図	6	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	105	91	33	80	内一にぶい黄橙 外一灰白	利根川	
第37図	7	SX-4	土師器	有段口縁杯	101	86	35	50	灰白	利根川	
第37図	8	1-21グリッド	土師器	有段口縁杯	88	86	31	30	明褐灰	利根川	
第37図	9	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯	88	79	41	100	灰白	利根川	
第37図	10	J-22グリッド-No.2	土師器	有段口縁杯C型	147	99	41	80	内一黒褐 外一橙	利根川	
第37図	11	1-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁杯C型	104	75	32	100	黒褐	利根川	
第37図	12	J-22グリッド-31・42	土師器	比金形杯	120	-	-	20	赤	荒川	
第37図	13	J-22グリッド 谷	土師器	比金形杯	128	-	-	25	赤	比金・入黒	
第37図	14	J-22グリッド 谷	土師器	比金形杯	120	-	-	5	赤	比金・入黒	
第37図	15	1-21グリッド	土師器	比金形杯	110	-	-	25	明褐灰	比金・入黒	

第9表 土器集中出土地点遺物(4)

採回番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第37図	16	J-21グリッド	土師器	比企形環	119	—	—	15	明赤褐	比企・入黒	
第37図	17	I-21グリッド-99	土師器	比企形環	130	131	42	70	内一赤 外一にぶい橙	比企・入黒	
第37図	18	J-22グリッド-21・31	土師器	比企形環	130	—	—	20	赤	比企・入黒	
第37図	19	J-21グリッド-20	土師器	比企形環	130	—	—	20	明赤褐	比企・入黒	
第37図	20	J-21グリッド-30	土師器	比企形環	129	—	—	50	明赤褐	比企・入黒	
第37図	21	SD-252	土師器	比企形環	128	—	—	5	明赤褐	比企・入黒	
第37図	22	J-21グリッド	土師器	比企形環	126	—	—	10	明赤褐	比企・入黒	
第37図	23	J-22グリッド-43 1~4層	土師器	比企形環	129	—	—	20	赤	比企・入黒	
第37図	24	J-22グリッド-42	土師器	比企形環	118	—	—	10	赤	比企・入黒	
第37図	25	I-21グリッド-79	土師器	比企形環	120	—	—	10	明赤褐	比企・入黒	
第37図	26	J-22グリッド-62	土師器	比企形環	115	—	—	15	暗褐	比企・入黒	
第37図	27	SD-252	土師器	比企形環	122	—	—	5	赤褐	比企・入黒	
第37図	28	J-21グリッド-No.33	土師器	比企形環	104	105	40	90	赤	利根川	
第37図	29	I-22グリッド-42	土師器	比企形環	109	—	—	15	赤	比企・入黒	
第37図	30	I-21グリッド-65	土師器	比企形環	105	—	—	20	にぶい橙	比企・入黒	
第37図	31	J-22グリッド	土師器	比企形環	113	—	—	15	明赤褐	比企・入黒	
第37図	32	I-21グリッド-80	土師器	比企形環	110	—	—	25	内一明赤褐 外一にぶい橙	比企・入黒	
第37図	33	SE-44	土師器	比企形環	100	102	—	5	明赤褐	比企・入黒	
第37図	34	包含層中	土師器	比企形環	100	—	—	45	明赤褐	比企・入黒	
第37図	35	J-22グリッド-62	土師器	比企形環	103	—	—	10	赤	比企・入黒	
第37図	36	I-21グリッド-80	土師器	比企形環	102	—	—	30	内一橙 外一にぶい橙	比企・入黒	
第37図	37	I-21グリッド-90	土師器	比企形環	100	—	—	5	内一赤 外一にぶい橙	比企・入黒	
第37図	38	I-21グリッド SX-4	土師器	比企形環	100	95	35	100	内一橙 外一にぶい黄橙	ローム土	
第37図	39	I-21グリッド-27	土師器	比企形環	89	—	—	15	赤	比企・入黒	
第39図	1	J-22グリッド-12	土師器	盤	188	—	—	10	にぶい黄橙	利根川	
第39図	2	I-21グリッド	土師器	比企形環(体)	200	—	—	10	内一明赤褐 外一黒	比企・入黒	
第39図	3	I-21グリッド-14・74	土師器	内屈口縁環	98	100	33	30	橙	利根川	
第39図	4	I-21グリッド-38	土師器	内屈口縁環	100	105	34	50	にぶい橙	利根川	
第39図	5	J-21グリッド-9	土師器	内屈口縁環	100	104	38	50	内一橙 外一黒	ローム土	
第39図	6	J-22グリッド	土師器	内屈口縁環	102	109	35	40	橙	利根川	
第39図	7	J-21グリッド-64・65	土師器	内屈口縁環	102	105	33	80	橙	利根川	
第39図	8	I-21グリッド-78	土師器	内屈口縁環	100	105	—	25	橙	ローム土	
第39図	9	I-21グリッド-66 1~4層	土師器	内屈口縁環	100	104	—	30	にぶい橙	利根川	
第39図	10	I-21グリッド-97	土師器	内屈口縁環	103	103	32	30	橙	利根川	
第39図	11	J-22グリッド	土師器	内屈口縁環	101	106	32	50	にぶい橙	利根川	
第39図	12	J-21グリッド	土師器	内屈口縁環	100	94	23	50	橙	利根川	
第39図	13	I-21グリッド-26	土師器	内屈口縁環	100	100	25	50	橙	利根川	
第39図	14	I-21グリッド-80	土師器	内屈口縁環	106	100	34	20	橙	利根川	
第39図	15	I-21グリッド-90	土師器	内屈口縁環	100	108	35	50	にぶい黄橙	利根川	
第39図	16	J-21グリッド-30	土師器	内屈口縁環	103	103	33	30	にぶい黄橙	利根川	
第39図	17	I-21グリッド-66 1~4層	土師器	内屈口縁環	104	110	—	10	橙	利根川	
第39図	18	I-21グリッド-89	土師器	内屈口縁環	109	111	—	25	にぶい橙	利根川	
第39図	19	J-21グリッド SE-44	土師器	内屈口縁環	108	—	—	10	橙	利根川	
第39図	20	I-21グリッド SX-4	土師器	内屈口縁環	104	89	34	100	橙	利根川	
第39図	21	I-21グリッド-38	土師器	内屈口縁環	103	107	—	10	橙	利根川	
第39図	22	I-21グリッド-90	土師器	内屈口縁環	108	110	34	100	橙	利根川	
第39図	23	I-21グリッド-68 1~4層	土師器	内屈口縁環	106	106	29	45	橙	利根川	
第39図	24	J-21グリッド-27	土師器	内屈口縁環	109	111	32	40	橙	利根川	

第10表 土器集中出土地点遺物(5)

採回番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第39図	25	1-21グリッド-6	土師器	内湾口縁環	107	111	34	40	にぶい橙	利根川	
第39図	26	1-21グリッド-19	土師器	内屈口縁環	110	109	30	55	にぶい橙	利根川	
第39図	27	1-21グリッド-66 1~4層	土師器	内屈口縁環	100	108	30	30	橙	ローム土	
第40図	1	1-21グリッド-79	土師器	内屈口縁環	112	112	-	90	にぶい黄橙	利根川	
第40図	2	1-21グリッド-60	土師器	内屈口縁環	110	116	40	50	橙	利根川	
第40図	3	1-21グリッド-61・71・81	土師器	内屈口縁環	113	108	34	100	にぶい橙	ローム土	
第40図	4	1-21グリッド	土師器	坏A	120	120	34	45	橙	ローム土	
第40図	5	1-21グリッド-69 1~4層	土師器	内屈口縁環	114	117	36	50	橙	利根川	
第40図	6	1-21グリッド	土師器	内屈口縁環	114	122	39	60	橙	ローム土	
第40図	7	1-21グリッド-79	土師器	内屈口縁環	120	123	34	25	にぶい橙	ローム土	
第40図	8	1-21グリッド-66	土師器	内屈口縁環	113	117	28	50	橙	利根川	
第40図	9	1-21グリッド-50	土師器	内屈口縁環	108	110	35	100	橙	利根川	
第40図	10	J-21グリッド-65	土師器	内屈口縁環	116	120	32	40	にぶい黄橙	利根川	
第40図	11	J-21グリッド-10	土師器	内屈口縁環	110	109	-	25	明褐灰	ローム土	
第40図	12	SD-131北半	土師器	内屈口縁環	120	105	35	90	橙	利根川	
第40図	13	1-21グリッド-56	土師器	内屈口縁環	127	134	39	60	にぶい橙	利根川	
第40図	14	1-21グリッド-34	土師器	内屈口縁環	128	131	34	45	橙	利根川	
第40図	15	1-21グリッド-80 1~4層	土師器	内屈口縁環	122	130	38	80	橙	利根川	
第40図	16	1-21グリッド-66 1~4層	土師器	内屈口縁環	127	129	40	45	橙	利根川	
第41図	1	1-21グリッド-61・71・81	土師器	内屈口縁環	129	136	39	60	橙	利根川	
第41図	2	1-21グリッド-90	土師器	内屈口縁環	136	136	-	30	橙	利根川	
第41図	3	1-21グリッド-96	土師器	内屈口縁環	132	131	40	30	橙	利根川	
第41図	4		土師器	内屈口縁環	-	-	-	-		利根川	
第41図	5	J-21グリッド-9	土師器	内屈口縁環	139	139	-	30	にぶい橙	利根川	
第41図	6	1-22グリッド-91	土師器	内屈口縁環	157	157	-	25	にぶい橙	利根川	
第41図	7	I-21グリッド-No.18	土師器	内屈口縁環	140	126	40	30	にぶい黄橙	利根川	
第41図	8	1-21グリッド-46	土師器	内屈口縁環	147	150	-	30	橙	利根川	
第41図	9	1-21グリッド-77	土師器	内湾口縁環	100	99	30	25	橙	ローム土	
第41図	10	1-21グリッド-80	土師器	内湾口縁環	91	93	29	50	橙	利根川	
第41図	11	J-21グリッド-10	土師器	内湾口縁環	97	101	31	50	にぶい橙	利根川	
第41図	12	1-21グリッド-56	土師器	内湾口縁環	92	90	24	35	にぶい橙	利根川	
第41図	13	J-22グリッド-No.42	土師器	内湾口縁環	98	90	31	100	橙	利根川	
第41図	14	1-21グリッド	土師器	内湾口縁環	102	106	30	45	にぶい橙	利根川	
第41図	15	1-21グリッド-70	土師器	内湾口縁環	103	110	24	10	橙	利根川	
第41図	16	SE-44	土師器	内湾口縁環	102	102	36	5	淡橙	ローム土	
第41図	17	SE-44	土師器	内湾口縁環	106	103	-	5	にぶい橙	利根川	
第42図	1	1-21グリッド-57	土師器	内湾口縁環	109	106	30	20	浅黄橙	ローム土	
第42図	2	1-21グリッド-96	土師器	内湾口縁環	108	110	30	25	にぶい橙	利根川	
第42図	3	1-21グリッド-87	土師器	内湾口縁環	107	110	30	55	内-黄橙 外-にぶい黄橙	利根川	
第42図	4	1-21グリッド-61・71・81	土師器	内湾口縁環	108	106	29	60	橙	利根川	
第42図	5	1-21グリッド-80	土師器	内湾口縁環	109	110	29	50	橙	利根川	
第42図	6	1-21グリッド-58	土師器	内湾口縁環	107	98	32	55	にぶい橙	ローム土	
第42図	7	1-21グリッド-26	土師器	内湾口縁環	110	112	30	20	にぶい橙	利根川	
第42図	8	1-21グリッド	土師器	内湾口縁環	108	118	-	5	にぶい橙	利根川	
第42図	9	J-21グリッド	土師器	内湾口縁環	110	-	-	15	にぶい橙	ローム土	
第42図	10	1-21グリッド-76	土師器	内湾口縁環	110	110	-	30	橙	利根川	
第42図	11	1-21グリッド-64	土師器	内湾口縁環	107	111	33	98	橙	ローム土	
第42図	12	1-22グリッド	土師器	内湾口縁環	105	-	-	30	橙	ローム土	

第11表 土器集中出土地点遺物(6)

採回番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存年	色調	産地	備考
第42図	13	I-21グリッド-68 1~4層	土師器	内湾口縁杯	118	120	29	30	にぶい橙	利根川	
第42図	14	I-22グリッド-91・93	土師器	内湾口縁杯	116	117	29	60	にぶい橙	利根川	
第42図	15	J-22グリッド-11	土師器	内湾口縁杯	117	124	29	25	橙	利根川	
第42図	16	包含層中	土師器	内湾口縁杯	117	112	-	45	橙	利根川	
第42図	17	I-21グリッド	土師器	内湾口縁杯	112	112	28	25	内-にぶい橙 外-黒	利根川	
第42図	18	I-21グリッド-61・71・81	土師器	内湾口縁杯	117	118	31	50	にぶい黄橙	利根川	
第42図	19	I-21グリッド-54	土師器	内湾口縁杯	122	118	30	40	にぶい橙	利根川	
第42図	20	J-22グリッド-No.34	土師器	内湾口縁杯	119	113	30	65	にぶい橙	利根川	
第43図	1	J-21グリッド	土師器	坏A	118	122	-	10	にぶい黄橙	利根川	
第43図	2	J-22グリッド-11	土師器	坏A	121	120	-	55	にぶい黄橙	利根川	
第43図	3	J-22グリッド-1	土師器	坏A	117	100	29	40	橙	利根川	
第43図	4	I-22グリッド-91	土師器	坏A	119	119	27	30	にぶい橙	利根川	
第43図	5	I-21グリッド	土師器	坏A	120	104	30	30	にぶい橙	利根川	
第43図	6	J-22グリッド-No.35	土師器	内湾口縁杯	118	116	33	55	内-にぶい橙 外-にぶい黄橙	利根川	
第43図	7	I-21グリッド-80 1~4層	土師器	内湾口縁杯	116	110	35	50	にぶい黄橙	利根川	
第43図	8	I-21グリッド	土師器	坏A	117	118	35	50	橙	利根川	
第43図	9	I-21グリッド-87	土師器	内湾口縁杯	116	120	37	60	にぶい橙	利根川	
第43図	10	I-21グリッド	土師器	内湾口縁杯	114	121	33	55	橙	利根川	
第43図	11	包含層中	土師器	内湾口縁杯	117	112	36	30	にぶい橙	利根川	
第43図	12	J-21グリッド-No.6	土師器	内湾口縁杯	120	123	42	55	橙	利根川	
第43図	13	I-21グリッド-45	土師器	内湾口縁杯	122	118	37	85	橙	利根川	
第43図	14	I-21グリッド-No.22	土師器	内湾口縁杯	119	117	32	30	にぶい橙	利根川	
第43図	15	I-22グリッド-91	土師器	内湾口縁杯	121	121	36	95	にぶい橙	利根川	
第43図	16	I-21グリッド-44	土師器	内湾口縁杯	120	120	34	40	橙	利根川	
第43図	17	I-21グリッド-61・71・81	土師器	内湾口縁杯	115	120	-	15	橙	利根川	
第43図	18	I-21グリッド-66	土師器	内湾口縁杯	120	120	33	30	にぶい橙	利根川	
第43図	19	SE-44	土師器	坏A	117	78	36	70	にぶい黄橙	ローム土	
第43図	20	SE-44	土師器	坏A	112	81	36	25	橙	利根川	
第44図	1	I-22グリッド-51 1~3層	土師器	内湾口縁杯	130	130	28	45	にぶい橙	利根川	
第44図	2	I-21グリッド	土師器	内湾口縁杯	125	127	33	50	橙	利根川	
第44図	3	J-21グリッド-15	土師器	内湾口縁杯	125	116	31	70	にぶい橙	利根川	
第44図	4	I-21グリッド	土師器	内湾口縁杯	124	120	29	20	にぶい橙	利根川	
第44図	5	J-21グリッド-10	土師器	内湾口縁杯	129	116	27	50	にぶい橙	利根川	
第44図	6	J-21グリッド-10	土師器	内湾口縁杯	131	131	33	60	にぶい黄橙	利根川	
第44図	7	I-21グリッド	土師器	内湾口縁杯	128	130	33	25	橙	利根川	
第44図	8	I-21グリッド	土師器	内湾口縁杯	127	131	34	55	内-にぶい黄橙 外-黒	利根川	
第44図	9	J-21グリッド 地山直上	土師器	内湾口縁杯	125	123	32	40	橙	利根川	
第44図	10	J-21グリッド-6	土師器	内湾口縁杯	130	132	34	45	橙	利根川	
第44図	11	SD-252	土師器	内湾口縁杯	123	101	31	10	にぶい黄橙	利根川	
第44図	12	SD-283	土師器	内湾口縁杯	122	120	37	30	にぶい橙	利根川	
第44図	13	SE-44	土師器	内湾口縁杯	133	111	36	30	橙	利根川	
第44図	14	I-22グリッド-11	土師器	内湾口縁杯	129	131	-	45	にぶい黄橙	利根川	
第44図	15	I-22グリッド	土師器	内湾口縁杯	125	112	35	40	橙	利根川	
第44図	16	I-21グリッド-66 1~4層	土師器	内湾口縁杯	130	130	34	35	にぶい橙	利根川	
第44図	17	I-21グリッド-57	土師器	内湾口縁杯	129	130	-	25	橙	利根川	
第45図	1	I-21グリッド 1~2層	土師器	内湾口縁杯	126	130	37	30	にぶい黄橙	利根川	
第45図	2	グリッド-21グリッド-7	土師器	内湾口縁杯	127	125	-	30	にぶい黄橙	利根川	
第45図	3	I-21グリッド	土師器	内湾口縁杯	129	131	34	35	にぶい橙	利根川	

第12表 土器集中出土地点遺物(7)

発掘番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第45図	4	J-22グリッド-2 1~4層	土師器	内弯口縁坏	130	136	-	30	にぶい橙	利根川	
第45図	5	I-21グリッド-96	土師器	内弯口縁坏	132	129	34	30	橙	利根川	
第45図	6	I-21グリッド-61・71・81	土師器	内弯口縁坏	131	127	35	35	にぶい橙	利根川	
第45図	7	I-21グリッド-18・19	土師器	内弯口縁坏	123	123	38	50	橙	利根川	
第45図	8	J-21グリッド-10	土師器	内弯口縁坏	133	131	32	75	灰褐	利根川	
第45図	9	J-22グリッド-1	土師器	内弯口縁坏	133	131	-	25	橙	利根川	
第45図	10	包含層中	土師器	内弯口縁坏	140	132	33	30	にぶい橙	利根川	
第45図	11	I-21グリッド-13	土師器	内弯口縁坏	137	137	-	20	橙	利根川	
第45図	12	J-21グリッド-31	土師器	内弯口縁坏	137	133	34	80	内一橙 外一褐	利根川	
第45図	13	I-21グリッド-一括	土師器	内弯口縁坏	136	133	29	70	橙	利根川	
第45図	14	I-21グリッド-88	土師器	内弯口縁坏	137	130	28	30	にぶい橙	利根川	
第45図	15	I-22グリッド-91~93	土師器	内弯口縁坏	140	144	40	25	にぶい橙	利根川	
第45図	16	I-21グリッド	土師器	内弯口縁坏	135	136	39	80	にぶい橙	利根川	
第47図	1	J-22グリッド-1	土師器	内弯口縁坏	130	123	44	40	橙	利根川	
第47図	2	I-21グリッド	土師器	内弯口縁坏	138	140	-	20	にぶい橙	利根川	
第47図	3	SD-283	土師器	内弯口縁坏	135	138	49	30	橙	ローム土	
第47図	4	J-22グリッド-1	土師器	内弯口縁坏	151	150	-	25	橙	利根川	
第47図	5	I-21グリッド-57・58・F8	土師器	内弯口縁坏	147	150	36	60	にぶい黄橙	利根川	
第47図	6	I-21グリッド-65	土師器	内弯口縁坏	149	145	-	45	にぶい橙	利根川	
第47図	7	J-22グリッド-33	土師器	内弯口縁坏	146	133	-	30	内一黒 外一にぶい橙	利根川	
第47図	8	J-22グリッド-2 1~4層	土師器	内弯口縁坏	167	170	-	35	にぶい橙	利根川	
第47図	9	J-22グリッド	土師器	内弯口縁坏	157	164	51	25	内一にぶい橙 外一褐灰	利根川	
第47図	10	I-21グリッド-65	土師器	内弯口縁坏	155	156	-	25	にぶい橙	利根川	
第47図	11	J-22グリッド-谷	土師器	内弯口縁坏	150	150	-	30	にぶい褐	利根川	
第47図	12	I-21グリッド	土師器	内弯口縁坏	160	150	48	50	にぶい黄橙	利根川	
第47図	13	J-21グリッド	土師器	内弯口縁坏	158	-	-	15	橙	利根川	
第49図	1	J-22グリッド	土師器	内弯口縁坏	-	34	-	25	内一褐灰 外一にぶい橙	利根川	
第49図	2	I-21グリッド-19	土師器	内弯口縁坏	-	100	-	15	明褐灰	ローム土	
第49図	3	包含層中	土師器	坏A	-	-	-	15	にぶい橙	利根川	墨書「綱」
第49図	4	J-21グリッド-20	土師器	坏A	-	-	-	10	内一にぶい橙 外一にぶい黄橙	利根川	墨書「益」
第49図	5	J-21グリッド-10	土師器	坏A	-	-	-	5	橙	利根川	墨書「有」
第49図	6	I-22グリッド-91	土師器	坏A	-	-	-	5	にぶい橙	利根川	墨書「益」
第49図	7	包含層中	土師器	坏A	-	-	-	-	にぶい橙	利根川	墨書「綱」
第49図	8	J-22グリッド	土師器	坏A	-	-	-	5	にぶい橙	利根川	墨書「口」
第49図	9	J-21グリッド-10	土師器	坏A	-	-	-	-	にぶい橙	利根川	墨書「益」
第49図	10	SD-252	土師器	坏A	-	-	-	5	にぶい橙	利根川	墨書「綱」
第49図	11	I-21グリッド SX-4	土師器	暗文土器坏	100	-	-	5	内一橙 外一にぶい黄橙	利根川	
第49図	12	I-21グリッド-89・90	土師器	暗文土器坏	111	114	40	55	内一黒 外一褐灰	利根川	
第49図	13	SE-44	土師器	暗文土器坏	117	-	-	15	橙	利根川	
第49図	14	I-21グリッド-89	土師器	暗文土器坏	126	129	41	50	灰褐	利根川	
第49図	15	I-22グリッド-79	土師器	暗文土器坏	150	120	-	20	にぶい橙	利根川	
第49図	16	I-22グリッド-91~93	土師器	暗文土器坏	126	122	39	80	にぶい橙	利根川	
第49図	17	I-21グリッド-76	土師器	暗文土器坏	134	128	40	55	浅黄橙	利根川	
第49図	18	J-21グリッド-29	土師器	暗文土器坏	120	120	36	45	橙	利根川	
第49図	19	SE-44	土師器	暗文土器坏	121	113	-	10	橙	利根川	
第49図	20	I-21グリッド-28	土師器	暗文土器坏	115	118	-	40	橙	利根川	
第49図	21	I-21グリッド-No.35	土師器	暗文土器坏	122	104	38	95	明褐灰	利根川	
第49図	22	I-21グリッド-22	土師器	暗文土器坏	139	135	31	35	橙	利根川	

第13表 土器集中出土地点遺物(8)

押図番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第49図	23	I-21グリッド59	土師器	暗文土器皿	148	149	32	70	灰黄褐	利根川	
第51図	1	I-21グリッド-38・48・49・59・88	土師器	暗文土器皿	156	156	—	70	黒褐	ローム土	
第51図	2	I-21グリッド-87	土師器	暗文土器皿	146	148	38	25	暗褐	ローム土	
第51図	3	I-21グリッド38	土師器	暗文土器盤	172	172	—	20	内-黒 外-にぶい黄橙	利根川	
第51図	4	J-21グリッド9	土師器	暗文土器鉢	138	—	—	5	橙	利根川	
第51図	5	SD-252	土師器	暗文土器杯	120	105	29	25	にぶい橙	利根川	
第51図	6	SD-252	土師器	暗文土器杯	123	92	28	100	橙	利根川	
第51図	7	I-20グリッド-39	土師器	杯A	117	72	34	50	にぶい橙	ローム土	
第51図	8	I-20グリッド-39	土師器	杯A	120	73	36	45	にぶい橙	ローム土	
第51図	9	I-20グリッド-29	土師器	杯A	122	77	37	50	にぶい黄橙	ローム土	
第51図	10	包含層中	土師器	杯A	120	70	—	40	にぶい黄橙	ローム土	
第51図	11	I-20グリッド-10	土師器	杯A	136	78	30	30	にぶい黄橙	ローム土	
第51図	12	J-21グリッド-1	土師器	杯A	130	79	30	35	にぶい黄橙	ローム土	
第51図	13	I-21グリッド	土師器	杯A	118	85	—	40	にぶい黄橙	ローム土	
第51図	14	I-20グリッド-10	土師器	杯A	126	128	—	20	にぶい黄橙	ローム土	
第51図	15	J-21グリッド SE-44	土師器	杯A	115	98	30	15	にぶい黄橙	利根川	
第51図	16	I-21グリッド-69	土師器	杯A	140	130	34	25	にぶい橙	利根川	
第51図	17	I-21グリッド-69 1~4層	土師器	杯A	136	138	44	35	にぶい黄橙	利根川	
第51図	18	SE-44	土師器	暗文土器杯	138	95	—	15	橙	ローム土	墨書「綱」
第51図	19	グリッド-19グリッド	土師器	杯B	128	70	44	80	灰白	ローム土	
第51図	20	グリッド-19グリッド	土師器	高台付埴耳B	133	79	55	85	橙	ローム土	
第51図	21	I-21グリッド-96	土師器	外反口縁皿	142	119	33	40	にぶい黄橙	利根川	
第51図	22	J-22グリッド-No.27	土師器	外反口縁皿	143	119	33	65	にぶい橙	利根川	
第51図	23	I-21グリッド-66	土師器	外反口縁皿	148	130	35	55	橙	利根川	
第53図	1	I-21グリッド-69	土師器	外反口縁皿	146	114	33	20	にぶい橙	利根川	
第53図	2	I-21グリッド-7	土師器	外反口縁皿	161	144	—	25	橙	利根川	
第53図	3	I-21グリッド-58	土師器	外反口縁皿	178	161	—	20	橙	利根川	
第53図	4	J-22グリッド	土師器	外反口縁皿	—	—	—	20	橙	利根川	
第53図	5	J-21グリッド-19	土師器	外反口縁皿	171	166	39	30	にぶい黄橙	利根川	
第53図	6	I-21グリッド-69	土師器	外反口縁皿	164	144	—	30	にぶい黄橙	利根川	
第53図	7	I-21グリッド-47	土師器	外反口縁皿	182	159	33	30	にぶい橙	利根川	
第53図	8	J-21グリッド 地山直上	土師器	縦口縁埴耳	127	136	83	70	黒褐	利根川	
第53図	9	J-22グリッド	土師器	縦口縁埴耳	124	130	58	30	黄橙	利根川	
第53図	10	H-20グリッド 谷斜面	土師器	縦口縁埴耳	107	120	68	100	赤褐	利根川	
第53図	11	J-20グリッド-19	土師器	縦口縁埴耳	120	124	62	20	内-灰白 外-黒褐	利根川	
第53図	12	I-20グリッド-19	土師器	縦口縁埴耳	111	127	70	90	にぶい橙	利根川	
第55図	1	I-21グリッド-80	土師器	直口縁鉢	200	—	—	10	内-灰黄褐 外-にぶい黄橙	利根川	
第55図	2	J-21グリッド-16・17・27	土師器	内屈口縁鉢	198	—	—	30	にぶい黄橙	利根川	
第55図	3	I-21グリッド-16	土師器	外反口縁鉢	244	—	—	10	にぶい黄橙	利根川	
第55図	4	J-22グリッド-22	土師器	有段口縁鉢	239	227	—	10	褐灰	利根川	
第55図	5	I-21グリッド	土師器	有段口縁鉢	179	—	—	5	黒褐	利根川	
第55図	6	I-20グリッド-29	土師器	有段口縁鉢	214	198	—	15	黒褐	利根川	
第55図	7	I-21グリッド SX-4	土師器	有段口縁鉢	237	224	83	30	内-灰白 外-灰黄褐	利根川	
第55図	8	J-21グリッド-40	土師器	比企形鉢	197	—	—	5	赤	比企・入黒	
第55図	9	I-20グリッド	須恵器	坏蓋	114	—	—	5	灰	菅ノ沢	
第55図	10	I-21グリッド	須恵器	坏蓋	145	—	—	5	褐灰	菅ノ沢	
第55図	11	J-21グリッド	須恵器	坏蓋	120	—	—	10	灰	菅ノ沢	
第55図	12	H-20グリッド	須恵器	坏蓋	99	—	—	20	内-暗オリーブ 外-灰白	猿投	

第14表 土器集中出土地点遺物(9)

検出番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第55図	13	1-21グリッド-28・29・58	須恵器	坏蓋	101	-	-	95	灰	湖西	
第55図	14	1-21グリッド-78・79	須恵器	坏蓋	10	-	-	20	灰	湖西	
第55図	15	1-21グリッド-c	須恵器	坏蓋	10	-	-	5	灰	湖西	
第55図	16	包含層中	須恵器	坏蓋	97	-	-	15	灰	湖西	
第55図	17	1-21グリッド	須恵器	坏蓋	97	-	-	5	灰	湖西	
第55図	18	1-21グリッド	須恵器	坏蓋	97	-	-	5	内-灰白 外-灰	湖西	
第55図	19	1-21グリッド-48	須恵器	坏蓋	97	-	-	5	灰	湖西	
第55図	20	1-21グリッド-97	須恵器	坏蓋	86	-	-	5	灰	湖西	
第58図	1	包含層中	須恵器	かえり蓋	140	-	-	5	内-灰白 外-オリブ灰	湖西	
第58図	2	1-21グリッド-48・49・58	須恵器	かえり蓋	125	-	37	95	内-灰白 外-ネリブ灰	東海西部	
第58図	3	J-21グリッド	須恵器	かえり蓋	111	-	-	5	灰	湖西	
第58図	4	1-21グリッド-80	須恵器	かえり蓋	113	-	32	99	内-灰白 外-ネリブ灰	東海西部	
第58図	5	1-21グリッド-26・33・66 1~4層	須恵器	かえり蓋	115	-	25	45	内-褐灰 外-灰褐	未野	
第58図	6	SX-4	須恵器	かえり蓋	98	-	-	5	灰白	湖西	
第58図	7	包含層中	須恵器	かえり蓋	110	-	41	70	灰	未野	
第58図	8	J-21グリッド-9・10 1-21グリッド-28・48	須恵器	かえり蓋	130	-	-	70	灰白	湖西	
第58図	9	1-21グリッド-17・27・29・77	須恵器	かえり蓋	121	-	33	25	灰	未野	
第58図	10	1-21グリッド-59・69・89 1~4層	須恵器	かえり蓋	124	-	-	65	灰	未野	
第58図	11	SD-252	須恵器	蓋(つまみ)	-	-	-	5	灰白	東海西部	
第58図	12	1-21グリッド-48・58	須恵器	かえり蓋	131	-	-	25	灰	未野	
第58図	13	1-21グリッド-17・26・29・47	須恵器	かえり蓋	137	-	-	60	にぶい褐	未野	
第58図	14	1-21グリッド-84	須恵器	かえり蓋	124	-	28	45	灰	未野	
第58図	15	J-21グリッド-8	須恵器	かえり蓋	132	-	28	20	にぶい黄橙	未野	
第58図	16	1-21グリッド-27・28・38・48	須恵器	かえり蓋	138	-	31	90	褐灰	未野	
第58図	17	J-21グリッド-30 1-21グリッド-53	須恵器	かえり蓋	134	-	18	30	にぶい黄橙	未野	
第58図	18	SE-44	須恵器	かえり蓋	153	-	-	25	灰	未野	
第58図	19	1-21グリッド-97	須恵器	かえり蓋	-	-	-	25	灰白	未野	
第58図	20	1-21グリッド-84・85・95	須恵器	かえり蓋	159	-	32	50	灰白	未野	
第58図	21	1-21グリッド89・98	須恵器	かえり蓋	159	-	-	45	内-暗灰 外-灰	未野	
第58図	22	1-21グリッド-7・28	須恵器	かえり蓋	146	-	30	25	灰	未野	
第58図	23	J-22グリッド-42 1~4層	須恵器	蓋	-	-	-	20	灰白	未野	
第58図	24	1-21グリッド-68 1~4層	須恵器	蓋	-	-	-	45	内-灰黄 外-灰	未野	
第58図	25	1-21グリッド-97	須恵器	蓋	-	-	-	35	内-灰白 外-灰	未野	
第58図	26	1-21グリッド	須恵器	かえり蓋	-	-	-	15	灰白	未野	
第58図	27	1-21グリッド-29	須恵器	かえり蓋	181	-	46	40	灰	未野	
第58図	28	1-21グリッド-17・27・29・47・58・77	須恵器	かえり蓋	184	-	42	70	灰	未野	
第58図	29	1-21グリッド	須恵器	かえり蓋	194	-	38	40	灰	未野	
第58図	30	1-21グリッド-57・58・59	須恵器	かえり蓋	198	-	37	75	灰	未野	
第58図	31	1-21グリッド-18・19・28・29・47	須恵器	かえり蓋	-	-	-	60	灰白	未野	
第58図	32	J-21グリッド	須恵器	かえり蓋	176	-	-	25	内-灰白 外-褐灰	未野	
第59図	1	1-21グリッド-99	須恵器	かえり蓋	180	-	-	25	にぶい褐	未野	
第59図	2	1-21グリッド-56・78	須恵器	かえり蓋	181	-	-	15	灰白	未野	
第59図	3	1-21グリッド-37	須恵器	かえり蓋	180	-	-	10	灰	未野	
第59図	4	1-21グリッド-48・49・57・78	須恵器	かえり蓋	-	-	-	30	灰	未野	
第59図	5	1-21グリッド-59	須恵器	かえり蓋	179	-	51	100	灰白	秩父半群	
第59図	6	J-21グリッド-20	須恵器	蓋	119	-	-	10	灰	未野	
第59図	7	J-21グリッド-5・6・15	須恵器	蓋	169	-	22	70	内-灰 外-灰白	南北企	
第59図	8	1-21グリッド-61・71・81	須恵器	蓋	175	-	34	75	内-灰白 外-明褐灰	南北企	

第15表 土器集中出土地点遺物 (10)

採回番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第59図	9	1-21グリッド-49・50・a	須恵器	蓋	155	-	30	30	灰	末野	
第59図	10	1-21グリッド-47	須恵器	蓋	178	-	-	5	内-灰白 外-灰黄褐	末野	器書「□」※□
第59図	11	1-21グリッド-14	須恵器	蓋	-	-	-	25	灰	末野	
第59図	12	J-21グリッド-30	須恵器	蓋	151	-	-	20	灰	南比企	
第59図	13	1-21グリッド-c・96	須恵器	蓋	-	-	-	25	灰	南比企	
第59図	14	J-21グリッド-7	須恵器	蓋	140	-	-	20	灰	南比企	
第59図	15	1-20グリッド-10	須恵器	蓋	170	-	-	20	灰	南比企	
第59図	16	1-21グリッド-97	須恵器	蓋	-	-	-	30	灰白	南比企	
第59図	17	J-21グリッド-7	須恵器	蓋	-	-	-	30	灰白	南比企	
第59図	18	1-21グリッド-66 1~4層	須恵器	蓋	-	-	-	15	灰	南比企	
第59図	19	SX-4	須恵器	坏身	-	98	-	5	灰白	東海西部	
第59図	20	1-21グリッド SX-4	須恵器	坏身	87	78	36	100	灰	湖西	
第59図	21	1-21グリッド-57	須恵器	坏身	-	64	-	50	灰	湖西	
第59図	22	1-21グリッド-97	須恵器	坏身	77	-	-	5	灰	湖西	
第59図	23	1-21グリッド-90	須恵器	坏身	-	66	-	10	灰	湖西	
第59図	24	1-21グリッド-89	須恵器	坏身	-	-	-	20	灰白	湖西	
第59図	25	1-21グリッド-90	須恵器	坏身	-	-	-	20	灰白	湖西	
第59図	26	1-21グリッド-28	須恵器	坏身	-	66	-	5	灰	末野	刻書「□」
第59図	27	J-22グリッド 一括	須恵器	坏身	-	43	-	20	灰	末野	
第59図	28	J-22グリッド-No.37	須恵器	坏身	104	77	41	45	褐灰	末野	
第59図	29	J-21グリッド-No.2	須恵器	坏身	-	72	-	25	灰	南比企	
第60図	1	1-21グリッド-79・80 1~4層	須恵器	坏身	94	73	33	75	灰	末野	
第60図	2	1-21グリッド-99	須恵器	坏身	106	91	34	15	灰白	昔谷・磯岡	
第60図	3	1-21グリッド	須恵器	坏身	-	64	-	20	内-灰白 外-灰	末野カ	
第60図	4	1-21グリッド-18	須恵器	坏身	-	55	-	20	灰	秋間	
第60図	5	J-21グリッド-10	須恵器	坏	132	76	39	50	灰	南比企	
第60図	6	1-21グリッド-37	須恵器	坏	136	76	43	45	灰白	末野	
第60図	7	1-21グリッド-69	須恵器	坏	115	82	39	45	灰	末野	
第60図	8	1-21グリッド-48・58	須恵器	坏	112	82	40	20	灰黄褐	末野	
第60図	9	1-21グリッド-17	須恵器	坏	-	91	-	5	灰	末野	刻書「□」
第60図	10	1-21グリッド-大溝埋土	須恵器	坏	-	90	-	10	灰	末野	
第60図	11	1-21グリッド-99	須恵器	坏身	98	-	-	15	灰白	南比企	
第60図	12	1-21グリッド-96	須恵器	坏	129	91	37	30	灰	末野	
第60図	13	SD-283	須恵器	坏	-	82	-	15	灰白	秋間カ	
第60図	14	1-21グリッド-28	須恵器	坏身	126	96	-	20	黄灰	末野	
第60図	15	1-21グリッド-59・70	須恵器	坏	160	108	42	50	灰	末野	
第60図	16	1-21グリッド-6	須恵器	坏	150	117	40	25	灰	末野	
第60図	17	1-21グリッド-34	須恵器	坏	-	114	-	5	灰	南比企	
第60図	18	1-21グリッド-28・37・58・99・F8	須恵器	坏	184	152	44	85	にぶい黄褐	末野	
第60図	19	1-21グリッド-27	須恵器	坏	170	128	44	30	にぶい黄橙	末野	
第62図	1	1-21グリッド-47・48・58・67	須恵器	坏	170	135	36	40	灰	南比企	
第62図	2	1-21グリッド-69	須恵器	坏	-	113	-	60	内-灰白 外-灰	末野	
第62図	3	J-21グリッド-10	須恵器	坏	160	-	-	15	灰白	末野	
第62図	4	1-21グリッド-49 1~3層	須恵器	坏	-	122	-	30	黄灰	末野	
第62図	5	1-21グリッド-58 1~4層	須恵器	坏	-	133	-	20	灰白	末野	
第62図	6	1-21グリッド-48	須恵器	坏	-	113	-	15	灰白	末野	
第62図	7	1-21グリッド-35	須恵器	坏	160	120	35	20	灰白	南比企	
第62図	8	1-21グリッド-17・29	須恵器	坏	193	131	42	35	灰	末野	

第16表 土器集中出土地点遺物(11)

探検番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第62図	9	I-21グリッド-47・48・49・57・59	須恵器	坏	172	114	42	80	灰	末野	
第62図	10	J-22グリッド-12 1~4層	須恵器	坏	-	116	-	30	灰	南比企	
第62図	11	I-21グリッド-58	須恵器	坏	-	112	-	10	灰	末野	
第62図	12	J-22グリッド-18・22 1~4層	須恵器	坏	169	110	40	35	黒帯-灰白 緑帯-オリーブ黒	南比企	
第63図	1	I-21グリッド-97	須恵器	坏	151	108	33	50	灰	南比企	
第63図	2	I-21グリッド-86	須恵器	坏	152	112	37	20	灰	南比企	
第63図	3	J-22グリッド-13	須恵器	坏	149	100	33	35	灰白	南比企	
第63図	4	J-21グリッド-9	須恵器	坏	136	80	33	70	内-灰白 外-灰	南比企	
第63図	5	J-21グリッド-9	須恵器	坏	143	100	34	20	灰	南比企	
第63図	6	J-21グリッド-40	須恵器	坏	136	99	43	70	灰黄褐	末野	
第63図	7	I-21グリッド-35	須恵器	坏	-	108	-	15	灰白	南比企	墨書「中」
第63図	8	SE-44	須恵器	坏	-	98	-	10	灰	南比企	墨書「家刀自」
第63図	9	I-21グリッド	須恵器	坏	145	100	37	20	灰白	南比企	
第63図	10	J-22グリッド-32 1~4層	須恵器	坏	139	94	37	50	灰白	南比企	
第63図	11	J-21グリッド-10	須恵器	坏	143	96	39	40	灰	南比企	
第63図	12	J-22グリッド 1~4層	須恵器	坏	149	94	35	30	灰白	秋田	
第63図	13	包含層中	須恵器	坏	136	96	-	25	内-灰白 外-灰	末野	
第63図	14	J-22グリッド-13	須恵器	坏	145	96	34	80	灰白	南比企	
第63図	15	I-21グリッド	須恵器	坏	162	90	33	25	黄灰	南比企	
第64図	1	J-21グリッド-6	須恵器	坏	149	92	29	50	灰	南比企	
第64図	2	J-21グリッド-10	須恵器	坏	160	86	37	70	灰白	末野	墨書「土」
第64図	3	J-21グリッド-19	須恵器	坏	135	85	37	40	灰白	南比企	
第64図	4	J-22グリッド-1	須恵器	坏	132	78	40	30	にぶい褐	南比企	墨書「下」
第64図	5	I-21グリッド-18・19・30	須恵器	坏	127	79	35	65	灰	南比企	墨書「下」
第64図	6	J-21グリッド-20	須恵器	坏	147	88	40	75	灰白	末野	
第64図	7	I-22グリッド	須恵器	坏	-	82	-	20	灰白	末野	墨書「大」口はた
第64図	8	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	82	-	30	灰	南比企	墨書「中」
第64図	9	I-22グリッド	須恵器	坏	-	105	-	40	灰白	南比企	
第64図	10	I-21グリッド-68 1~4層	須恵器	坏	-	93	-	10	灰	末野	
第64図	11	I-22グリッド-22	須恵器	坏	-	89	-	20	灰	南比企	墨書「土万」
第64図	12	J-22グリッド-1	須恵器	坏	-	98	-	10	オリーブ褐	南比企	墨書「成」書カ
第64図	13	J-22グリッド-53	須恵器	坏	-	82	-	10	灰白	南比企	墨書「綱」
第64図	14	J-21グリッド-50	須恵器	坏	-	80	-	15	灰	南比企	墨書「中」
第64図	15	J-22グリッド-53	須恵器	坏	-	82	-	10	灰白	南比企	墨書「口」
第64図	16	I-21グリッド-70	須恵器	坏	-	80	-	5	灰白	南比企	墨書「中」
第64図	17	J-22グリッド	須恵器	坏	-	79	-	10	灰白	南比企	墨書「綱」
第64図	18	J-22グリッド-12 1~4層	須恵器	坏	-	81	-	10	灰	南比企	墨書「下」
第64図	19	I-21グリッド-80	須恵器	坏	-	80	-	15	にぶい褐	南比企	墨書「中」
第64図	20	I-21グリッド-30	須恵器	坏	-	87	-	5	灰	南比企	墨書「念」
第64図	21	J-21グリッド-10	須恵器	坏	-	86	-	20	灰白	新治	
第64図	22	J-21グリッド-50	須恵器	坏	-	80	-	10	灰白	南比企	墨書「土」
第64図	23	I-21グリッド SX-4	須恵器	坏	135	79	39	90	緑灰	南比企	
第64図	24	I-21グリッド-99	須恵器	坏	139	78	-	30	灰	南比企	
第65図	1	I-21グリッド-59	須恵器	坏	126	74	33	80	灰	南比企	墨書「奈」
第65図	2	SD-252	須恵器	坏	120	73	32	20	灰	南比企	墨書「土万」書カ
第65図	3	J-21グリッド-50 J-22グリッド-50	須恵器	坏	131	73	35	85	灰	南比企	墨書「土万」
第65図	4	J-22グリッド-1	須恵器	坏	124	71	37	30	灰	南比企	
第65図	5	J-21グリッド-20	須恵器	坏	122	80	36	50	灰	南比企	

第17表 土器集中出土地点遺物 (12)

検出番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第65図	6	J-22グリッド-43 1~4層	須恵器	坏	-	74	-	30	灰白	南比企	墨書「土万」
第65図	7	J-21グリッド-50	須恵器	坏	-	71	-	50	灰白	南比企	墨書「土万」
第65図	8	J-21グリッド-10	須恵器	坏	-	70	-	10	灰白	南比企	墨書「綱」
第65図	9	J-22グリッド-22 1~4層	須恵器	坏	-	78	-	20	灰	南比企	墨書「土」
第65図	10	H-21グリッド	須恵器	坏	-	74	-	5	灰白	南比企	墨書「留」右カ
第65図	11	J-22グリッド-33 1~4層	須恵器	坏	-	74	-	20	にぶい楊	南比企	
第65図	12	I-21グリッド	須恵器	坏	-	76	-	5	にぶい橙	南比企	墨書「土」
第65図	13	J-22グリッド 谷	須恵器	坏	121	64	38	50	灰白	南比企	墨書「土万」
第65図	14	J-21グリッド-38	須恵器	坏	128	67	38	30	灰	南比企	
第65図	15	I-22グリッド	須恵器	坏	132	69	34	40	灰	南比企	墨書「土万」
第65図	16	J-22グリッド-38	須恵器	坏	128	67	35	50	灰	南比企	墨書「綱」
第65図	17	J-21グリッド-16	須恵器	坏	126	68	37	100	灰	南比企	墨書「土万」
第65図	18	J-22グリッド	須恵器	坏	120	71	34	45	灰	南比企	
第65図	19	SX-3	須恵器	坏	120	81	35	10	灰	南比企	
第65図	20	I-22グリッド-22	須恵器	坏	-	72	-	20	灰	南比企	墨書「土万」
第65図	21	I-21グリッド	須恵器	坏	-	66	-	20	灰	南比企	墨書「土万」
第65図	22	包含層中	須恵器	坏	-	70	-	5	灰	南比企	墨書「益」
第65図	23	I-21グリッド	須恵器	坏	-	60	-	20	灰	南比企	墨書「綱」
第65図	24	包含層中	須恵器	坏	-	62	-	20	灰白	南比企	墨書「綱」土万カ
第66図	1	I-21グリッド	須恵器	坏	-	60	-	10	にぶい黄橙	南比企	墨書「中中」
第66図	2	J-22グリッド-32 1~4層	須恵器	坏	-	58	-	10	灰	南比企	墨書「綱」
第66図	3	J-22グリッド-33 1~4層	須恵器	坏	-	67	-	20	灰	南比企	墨書「中」
第66図	4	包含層中	須恵器	坏	119	71	-	20	灰	南比企	墨書「土万」
第66図	5	J-22グリッド-11	須恵器	坏	-	-	-	15	灰	南比企	墨書「綱」
第66図	6	I-21グリッド 1~3層	須恵器	坏	-	-	-	5	暗青灰	末野	
第66図	7	J-22グリッド-11	須恵器	坏	131	92	35	50	灰白	南比企	
第66図	8	I-21グリッド	須恵器	坏	-	105	-	30	楊灰	南比企	
第66図	9	SD-283	須恵器	坏	-	100	-	10	灰白	南比企	
第66図	10	J-22グリッド-23 1~4層	須恵器	坏	-	100	-	5	灰	南比企	墨書「口」土カ
第66図	11	I-22グリッド-51 1~3層	須恵器	坏	140	93	36	80	浅黄橙	南比企	墨書「中人君」
第66図	12	J-22グリッド-22	須恵器	坏	150	97	35	20	灰	南比企	
第66図	13	J-21グリッド-10	須恵器	坏	138	92	34	20	灰白	南比企	墨書「口」
第66図	14	J-22グリッド-2・13 1~4層	須恵器	坏	-	73	-	40	にぶい黄橙	南比企	墨書「中」
第66図	15		須恵器	坏	-	-	-	-		南比企	墨書「綱」
第66図	16	SD-252	須恵器	坏	-	90	-	10	灰白	南比企	墨書「土」
第66図	17	J-22グリッド-13	須恵器	坏	138	87	42	75	灰	南比企	
第66図	18	J-22グリッド-2 1~4層	須恵器	坏	128	80	37	50	灰	南比企	
第66図	19	I-21グリッド-4	須恵器	坏	135	90	37	45	灰	南比企	
第66図	20	SE-44 J-22グリッド-1	須恵器	坏	138	79	41	35	灰白	末野	墨書「土」
第66図	21	SE-44	須恵器	坏	124	80	38	65	灰	南比企	墨書「口」
第66図	22	SE-44 J-22グリッド-1	須恵器	坏	238	83	36	45	灰	南比企	墨書「口」
第66図	23	I-21グリッド-10	須恵器	坏	140	80	42	30	灰白	南比企	
第66図	24	J-22グリッド-39	須恵器	坏	125	81	36	90	内-灰白 外-灰	南比企	墨書「綱」中カ
第66図	25	J-21グリッド-9	須恵器	坏	136	84	34	15	灰白	南比企	
第67図	1	J-22グリッド-29	須恵器	坏	138	86	36	60	灰白	南比企	墨書「土万」
第67図	2	J-21グリッド-10	須恵器	坏	128	80	39	35	灰白	南比企	墨書「中」
第67図	3	J-21グリッド-20	須恵器	坏	138	88	36	45	黄灰	南比企	墨書「第成」
第67図	4	J-22グリッド	須恵器	坏	130	83	36	45	灰	南比企	

第18表 土器集中出土地点遺物 (13)

検出番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第67図	5	J-21グリッド-19	須恵器	坏	133	80	34	60	灰黄褐	南比企	墨書「綱」
第67図	6	J-22グリッド-1	須恵器	坏	130	79	34	70	灰	南比企	
第67図	7	I-21グリッド-80 1~4層	須恵器	坏	133	84	37	60	灰白	南比企	墨書「益」
第67図	8	J-22グリッド-No.6	須恵器	坏	130	80	36	60	灰	南比企	
第67図	9	J-21グリッド	須恵器	坏	134	84	38	45	灰白	南比企	墨書「綱」
第67図	10	包含層中	須恵器	坏	129	80	37	20	にぶい黄橙	南比企	
第67図	11	J-21グリッド-19	須恵器	坏	140	96	39	40	灰	南比企	
第67図	12	J-22グリッド-13・谷裡土	須恵器	坏	128	80	30	40	灰	南比企	
第67図	13	SD-131 北平	須恵器	坏	121	69	35	25	灰白	南比企	墨書「綱」
第67図	14	J-22グリッド-33 1~4層	須恵器	坏	130	78	37	75	灰褐	南比企	
第67図	15	J-21グリッド-10	須恵器	坏	136	83	40	75	灰白	南比企	墨書「土万」
第67図	16	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	79	-	25	灰白	南比企	墨書「綱」
第67図	17	I-21グリッド-68 1~4層	須恵器	坏	-	82	-	20	灰	南比企	
第67図	18	J-22グリッド	須恵器	坏	-	87	-	60	灰	南比企	墨書「中」
第67図	19	SE-44	須恵器	坏	-	81	-	10	橙	南比企	
第67図	20	SD-283	須恵器	坏	-	83	-	15	灰白	南比企	
第67図	21	J-21グリッド-90	須恵器	坏	-	88	-	40	にぶい褐	南比企	墨書「土万」
第67図	22	I-21グリッド-80	須恵器	坏	-	80	-	10	灰白	南比企	墨書「□土万カ」
第67図	23	J-21グリッド-10	須恵器	坏	-	90	-	10	灰	南比企	墨書「主」網カ
第68図	1	J-21グリッド-10	須恵器	坏	-	98	-	20	灰白	南比企	
第68図	2	J-22グリッド 1~4層	須恵器	坏	-	83	-	20	灰	南比企	墨書「中」
第68図	3	I-21グリッド-70	須恵器	坏	-	88	-	5	灰白	南比企	墨書「土」
第68図	4	I-21グリッド-69 1~4層	須恵器	坏	-	81	-	30	灰	南比企	群「内」田中計
第68図	5	J-21グリッド 地山直上	須恵器	坏	-	80	-	10	にぶい黄橙	南比企	墨書「綱」
第68図	6	I-22グリッド-22	須恵器	坏	-	79	-	10	灰	南比企	墨書「益」
第68図	7	I-21グリッド-99	須恵器	坏	-	77	-	20	灰	南比企	墨書「第成」
第68図	8	J-22グリッド-11	須恵器	坏	-	85	-	20	にぶい褐	南比企	墨書「土万」
第68図	9	I-21グリッド-90	須恵器	坏	-	78	-	20	灰	南比企	墨書「土」
第68図	10	J-21グリッド-36	須恵器	坏	-	79	-	20	灰白	南比企	墨書「国万」
第68図	11	J-21グリッド-18	須恵器	坏	-	82	-	5	にぶい黄褐	南比企	墨書「土万」
第68図	12	I-21グリッド-90	須恵器	坏	-	-	-	5	灰	南比企	墨書「主」カ
第68図	13	J-21グリッド-10	須恵器	坏	-	82	-	25	灰白	南比企	墨書「土万」
第68図	14	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	80	-	10	灰白	南比企	墨書「土万」
第68図	15	I-21グリッド-80	須恵器	坏	-	84	-	10	灰	南比企	墨書「土」
第69図	16	J-21グリッド-29	須恵器	坏	-	80	-	5	灰白	南比企	墨書「土」
第68図	17	J-22グリッド-53	須恵器	坏	-	82	-	10	灰白	南比企	墨書「万」
第68図	18	J-21グリッド-50	須恵器	坏	-	80	-	10	灰白	南比企	墨書「網」土万カ
第68図	19	J-22グリッド	須恵器	坏	-	80	-	10	灰白	南比企	墨書「綱」
第68図	20	J-22グリッド-62	須恵器	坏	-	80	-	10	灰	南比企	墨書「中中」
第68図	21	SD-283	須恵器	坏	-	80	-	20	灰白	南比企	
第68図	22	J-21グリッド-35	須恵器	坏	129	76	39	60	灰白	南比企	
第68図	23	J-21グリッド-19	須恵器	坏	134	72	42	80	灰黄	南比企	
第68図	24	J-21グリッド-19	須恵器	坏	128	83	39	60	灰白	南比企	
第68図	25	I-22グリッド	須恵器	坏	122	74	37	60	灰	南比企	
第68図	26	J-21グリッド	須恵器	坏	139	74	33	45	灰	南比企	墨書「□」
第68図	27	包含層中	須恵器	坏	118	80	33	80	灰	南比企	墨書「綱」
第69図	1	J-22グリッド	須恵器	坏	133	70	32	50	にぶい橙	南比企	
第69図	2	J-21グリッド	須恵器	坏	123	79	33	60	灰	南比企	墨書「中」

第19表 土器集中出土地点遺物 (14)

採回番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第69図	3	J-21グリッド-14	須恵器	坏	123	78	41	70	灰	南比企	墨書「綱」
第69図	4	J-21グリッド-9	須恵器	坏	120	76	37	70	灰	南比企	
第69図	5	J-21グリッド-20	須恵器	坏	124	75	36	100	灰	南比企	墨書「第成」
第69図	6	J-21グリッド	須恵器	坏	138	73	36	40	にぶい黄褐	南比企	
第69図	7	J-21グリッド-20	須恵器	坏	123	62	32	60	にぶい褐	南比企	
第69図	8	J-21グリッド-20	須恵器	坏	122	74	34	50	灰	南比企	
第69図	9	J-22グリッド-13	須恵器	坏	132	76	36	65	灰	南比企	
第69図	10	J-22グリッド 谷	須恵器	坏	131	66	38	30	灰	南比企	
第69図	11	J-22グリッド-10	須恵器	坏	129	72	37	40	灰	南比企	墨書「土万」
第69図	12	J-22グリッド-11	須恵器	坏	124	76	35	50	灰褐	南比企	
第69図	13	J-22グリッド-1	須恵器	坏	-	68	-	20	にぶい褐	南比企	墨書「土万」
第69図	14	J-21グリッド-7	須恵器	坏	-	75	-	20	灰	南比企	割付取組目録
第69図	15	J-22グリッド-12 1~4層	須恵器	坏	-	73	-	20	灰	南比企	墨書「土」
第69図	16	J-22グリッド-22 1~4層	須恵器	坏	-	77	-	10	灰	南比企	墨書「土」 墨書「益」
第69図	17	J-21グリッド-50	須恵器	坏	-	70	-	15	灰白	南比企	墨書「綱」
第69図	18	J-20グリッド-25	須恵器	坏	-	78	-	10	灰	南比企	墨書「口」
第69図	19	I-20グリッド-8	須恵器	坏	-	72	-	10	灰白	南比企	墨書「所」
第69図	20	J-20グリッド 谷部	須恵器	坏	-	76	-	10	灰白	南比企	墨書「益」
第69図	21	包含層中	須恵器	坏	-	-	-	5	灰	南比企	墨書「綱」
第69図	22	SD-252	須恵器	坏	-	84	-	10	褐灰	南比企	墨書「綱」
第69図	23	I-21グリッド-69	須恵器	坏	-	73	-	10	灰白	南比企	墨書「揚井」
第69図	24	J-22グリッド-11	須恵器	坏	-	72	-	10	にぶい褐	南比企	墨書「綱」
第69図	25	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	77	-	10	内-灰 外-にぶい褐	南比企	墨書「土万」
第69図	26	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	70	-	40	灰	南比企	
第70図	1	J-21グリッド-7	須恵器	坏	-	73	-	15	灰	南比企	墨書「中」
第70図	2	J-21グリッド	須恵器	坏	-	78	-	20	灰白	南比企	墨書「土万」
第70図	3	J-22グリッド	須恵器	坏	-	80	-	5	灰	南比企	墨書「土万」 墨書「益」
第70図	4	J-22グリッド 1~4層	須恵器	坏	-	88	-	10	灰	南比企	墨書「下」
第70図	5	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	73	-	10	灰白	南比企	墨書「口」 墨書「綱」
第70図	6	包含層中	須恵器	坏	-	83	-	10	灰黄褐	南比企	墨書「綱」
第70図	7	I-21グリッド-35	須恵器	坏	-	79	-	20	灰白	南比企	墨書「下内」
第70図	8	J-22グリッド-31	須恵器	坏	-	71	-	10	灰	南比企	墨書「益」
第70図	9	I-21グリッド-90	須恵器	坏	-	77	-	10	灰	南比企	墨書「中」
第70図	10	J-22グリッド	須恵器	坏	-	80	-	20	灰白	南比企	墨書「綱」
第70図	11	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	68	-	20	灰	南比企	墨書「益」
第70図	12	J-21グリッド-25	須恵器	坏	-	72	-	20	灰オリーブ	南比企	墨書「中」
第70図	13	I-21グリッド	須恵器	坏	130	71	31	70	灰	南比企	墨書「土万」
第70図	14	SD-252	須恵器	坏	118	80	33	70	褐灰	末野	墨書「綱」
第70図	15	SD-252	須恵器	坏	121	59	35	80	灰	南比企	墨書「文」
第70図	16	SE-44	須恵器	坏	125	70	31	55	灰	南比企	墨書「第成」
第70図	17	I-22グリッド-72	須恵器	坏	130	68	30	40	灰白	南比企	墨書「丸人」
第70図	18	I-21グリッド-90	須恵器	坏	120	63	33	60	灰	南比企	墨書「土万」
第70図	19	J-21グリッド-20	須恵器	坏	126	61	37	50	灰白	南比企	
第70図	20	J-22グリッド	須恵器	坏	125	70	37	90	灰	南比企	
第70図	21	J-22グリッド-No.10	須恵器	坏	132	66	38	95	灰	南比企	
第70図	22	J-21グリッド-a・28・38・39	須恵器	坏	120	67	35	80	灰	南比企	
第70図	23	I-21グリッド-100	須恵器	坏	136	69	33	20	灰	南比企	墨書「中」
第70図	24	J-21グリッド-10	須恵器	坏	124	69	44	30	灰白	南比企	

第20表 土器集中出土地点遺物 (15)

排戻番号	図の番号	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	残存率	色調	産地	備考
第70図	25	SD-131 北半	須恵器	坏	-	73	-	15	灰白	南比企	墨書「綱」
第70図	26	SD-283	須恵器	坏	-	68	-	20	灰	南比企	墨書「+」漢字「X」
第71図	1	J-22グリッド-32	須恵器	坏	-	64	-	10	灰白	南比企	墨書「綱」
第71図	2	I-21グリッド-99	須恵器	坏	-	77	-	20	灰白	南比企	墨書「綱」
第71図	3	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	68	-	20	灰白	南比企	刻書「大」
第71図	4	J-22グリッド-23 1~4層	須恵器	坏	-	85	-	15	灰白	南比企	墨書「綱」
第71図	5	I-21グリッド-90	須恵器	坏	-	70	-	5	灰白	南比企	墨書「綱」
第71図	6	I-22グリッド-22	須恵器	坏	-	68	-	10	灰	南比企	墨書「土万」
第71図	7	J-21グリッド-50	須恵器	坏	-	68	-	5	灰白	南比企	墨書「綱」
第71図	8	J-22グリッド	須恵器	坏	-	67	-	20	黄灰	南比企	墨書「綱」
第71図	9	包含層中	須恵器	坏	-	66	-	10	灰	南比企	
第71図	10	包含層中	須恵器	坏	-	66	-	20	内-にぶい煙 外-灰	南比企	墨書「□」人
第71図	11	J-22グリッド-2 1~4層	須恵器	坏	-	68	-	10	灰	南比企	墨書「綱」
第71図	12	包含層中	須恵器	坏	-	64	-	15	灰	南比企	墨書「綱」
第71図	13	SE-44	須恵器	坏	-	76	-	15	灰白	南比企	墨書「土」土万カ
第71図	14	J-22グリッド	須恵器	坏	-	63	-	20	灰	南比企	墨書「綱」
第71図	15	J-21グリッド-48	須恵器	坏	-	70	-	10	灰白	南比企	墨書「□」人カ
第71図	16	I-22グリッド-33 1~4層	須恵器	坏	-	70	-	10	灰白	南比企	墨書「□」墨カ
第71図	17	J-21グリッド	須恵器	坏	-	63	-	10	灰	南比企	墨書「綱」
第71図	18	J-22グリッド-48	須恵器	坏	-	60	-	5	灰白	南比企	墨書「綱」
第71図	19	SD-131 北半	須恵器	坏	-	90	-	5	灰	南比企	墨書「中」
第71図	20	J-21グリッド-48	須恵器	坏	-	63	-	15	灰	南比企	墨書「綱」
第71図	21	J-22グリッド-43 1~4層	須恵器	坏	-	84	-	20	灰	南比企	墨書「綱」
第71図	22	J-21グリッド-1	須恵器	坏	-	66	-	20	灰	南比企	墨書「益」
第71図	23	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	70	-	10	灰白	南比企	墨書「土万」
第71図	24	I-22グリッド-51	須恵器	坏	-	-	-	5	褐灰	南比企	墨書「綱」
第71図	25	I-20グリッド-c	須恵器	坏	-	70	-	5	灰白	南比企	墨書「綱」
第71図	26	包含層中	須恵器	坏	122	71	33	30	灰	南比企	
第71図	27	J-22グリッド-26	須恵器	坏	135	81	39	85	灰	末野	墨書「土万」
第71図	28	I-21グリッド-80・90	須恵器	坏	141	76	42	40	灰白	南比企	
第71図	29	SD-377	須恵器	坏	130	75	36	25	灰	南比企	
第71図	30	J-22グリッド-1	須恵器	坏	126	70	40	30	灰白	南比企	墨書「土万」
第71図	31	I-20グリッド-20・I-21グリッド	須恵器	坏	120	47	38	70	灰	東金子	
第71図	32	J-22グリッド-73	須恵器	坏	122	69	37	95	内-灰 外-灰オレンジ	南比企	
第71図	33	J-20グリッド	須恵器	坏	124	74	39	75	灰白	南比企	墨書「第成」
第72図	1	J-22グリッド-63	須恵器	坏	120	72	39	45	灰白	末野	
第72図	2	J-22グリッド-1	須恵器	坏	118	66	39	20	灰	南比企	
第72図	3	J-22グリッド 1~4層	須恵器	坏	-	73	-	30	褐灰	南比企	墨書「中」田カ
第72図	4	J-21グリッド-20	須恵器	坏	-	72	-	20	灰白	南比企	墨書「第成」
第72図	5	包含層中	須恵器	坏	-	70	-	10	灰	南比企	墨書「綱」土万カ
第72図	6	SE-44	須恵器	坏	125	64	38	50	内-暗灰 外-灰	南比企	
第72図	7	H-20グリッド	須恵器	坏	126	60	37	20	灰白	南比企	
第72図	8	I-20グリッド-10	須恵器	坏	125	65	36	40	明褐	南比企	
第72図	9	SD-252	須恵器	坏	124	63	40	90	灰白	末野	墨書「□」
第72図	10	J-21グリッド 地山直上	須恵器	坏	130	55	40	30	灰	末野	
第72図	11	J-22グリッド-63	須恵器	坏	122	52	53	40	灰	末野	
第72図	12	J-22グリッド-63 1~4層	須恵器	坏	118	67	37	25	灰白	末野	
第72図	13	I-21グリッド	須恵器	坏	122	67	34	40	褐	南比企	